

小学生・中高生の生活実態に関する アンケート調査報告書

令和4年3月

仙台市

目次

| | |
|---------------------------------------|----|
| 1. アンケート調査の概要..... | 1 |
| (1) 調査目的..... | 1 |
| (2) 調査対象..... | 1 |
| (3) 調査方法..... | 1 |
| (4) 調査期間..... | 1 |
| (5) 回収状況..... | 1 |
| 2. アンケート調査の結果..... | 2 |
| (1) 基本情報..... | 2 |
| (2) ふだんの生活について..... | 4 |
| (3) 家庭や家族のことについて..... | 7 |
| (4) ヤングケアラーについて..... | 17 |
| 3. アンケート調査結果の詳細分析..... | 19 |
| (1) 家族の世話の有無による学校生活等の状況..... | 19 |
| (2) 性別による世話の状況の違い..... | 23 |
| (3) 家族構成による世話の状況の違い..... | 28 |
| (4) 平日1日あたりの世話に費やす時間による生活状況等..... | 33 |
| (5) 世話を必要としている家族による世話の状況等..... | 38 |
| (6) 世話をすることに感じている大変さによる世話の状況の違い..... | 42 |
| (7) ヤングケアラーの自己認識による生活状況、世話の状況の違い..... | 46 |
| 4. アンケート調査 自由意見..... | 54 |
| (1) 小学5年生..... | 54 |
| (2) 中学2年生..... | 55 |
| (3) 高校2年生..... | 56 |
| 5. 調査結果のまとめと考察..... | 57 |
| (1) 調査結果のまとめ..... | 57 |
| (2) 考察..... | 59 |
| 6. 資料編..... | 60 |
| (1) 「小学生の生活実態に関するアンケート」調査票..... | 60 |
| (2) 「中高生の生活実態に関するアンケート」調査票..... | 65 |

1. アンケート調査の概要

(1) 調査目的

本市におけるヤングケアラーの存在の傾向を把握するとともに、ケアの状況や困りごと、支援ニーズ等を把握することを目的に実施した。

(2) 調査対象

仙台市立学校に通う、小学5年生、中学2年生（中等教育学校2年生を含む）、高校2年生（中等教育学校5年生を含む）の児童生徒 約17,900人

(3) 調査方法

- ・ 各学校を通じて児童生徒に調査票を配布
- ・ 回答方法は、同封した返信用封筒による郵送か、自宅のPCやスマートフォンから回答できるWeb環境（調査票の二次元コードから案内）からの回答のいずれかを児童生徒が選択
- ・ 無記名式のアンケート調査で、内容は令和2年度に実施された国の調査に準ずる

(4) 調査期間

令和3年12月上旬～令和4年1月12日（水）

(5) 回収状況

| 区分 | 調査対象数 | 有効回答数 | 回収率 |
|-------|--------|-------------------------------|-------|
| 小学5年生 | 8,528 | 3,435 (郵送 2,646、Web 789) | 40.3% |
| 中学2年生 | 8,375 | 2,954 (郵送 2,041、Web 913) | 35.3% |
| 高校2年生 | 934 | 173 (郵送 96、Web 77) | 18.5% |
| 計 | 17,837 | 6,562 (郵送 4,783、Web 1,779) | 36.8% |

※調査対象者数は令和3年5月1日時点の児童生徒数による。

※中学2年生には中等教育学校2年生を含み、高校2年生には中等教育学校5年生を含む。（以下の表において同じ。）

2. アンケート調査の結果

(1) 基本情報

① 性別

回答者の性別は、以下の通り。

図表-1 性別

(%)

| | 調査数 (n) | 男性 | 女性 | その他 | 無回答 |
|-------|------------|------|------|-----|-----|
| 小学5年生 | 3,435 | 46.7 | 53.1 | 0.2 | 0.1 |
| 中学2年生 | 2,954 | 45.3 | 53.8 | 0.9 | 0.0 |
| 高校2年生 | 173 | 41.6 | 58.4 | 0.0 | 0.0 |

② 居住地

回答者の居住地は、以下の通り。

図表-2 居住地

(%)

| | 調査数 (n) | 青葉区 | 宮城野区 | 若林区 | 太白区 | 泉区 | その他 | 無回答 |
|-------|------------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 小学5年生 | 3,435 | 28.2 | 18.3 | 12.9 | 21.9 | 18.6 | 0.0 | 0.1 |
| 中学2年生 | 2,954 | 25.8 | 15.0 | 11.3 | 29.9 | 17.8 | 0.0 | 0.1 |
| 高校2年生 | 173 | 24.9 | 15.0 | 8.1 | 6.4 | 28.3 | 16.8 | 0.6 |

③ 同居家族

同居家族は、いずれの学校種でも「母親」が最も高く、次いで「父親」となっている。

図表－3 同居家族(複数回答)

(%)

| | 調査数 (n) | 母親 | 父親 | 祖母 | 祖父 | 兄・姉 | 弟・妹 | その他 | 無回答 |
|-------|------------|------|------|------|-----|------|------|-----|-----|
| 小学5年生 | 3,435 | 98.6 | 89.2 | 11.7 | 7.3 | 46.2 | 46.1 | 2.0 | 0.0 |
| 中学2年生 | 2,954 | 98.3 | 85.4 | 13.3 | 8.2 | 43.1 | 45.3 | 1.6 | 0.1 |
| 高校2年生 | 173 | 98.3 | 83.2 | 13.3 | 9.2 | 30.1 | 48.6 | 0.0 | 0.0 |

④ 家族構成

家族構成は、いずれの学校種でも「二世帯世帯」が最も高くなっている。

図表－4 家族構成

(%)

| | 調査数 (n) | 二世帯世帯 | 三世帯世帯 | ひとり親家庭 | その他の世帯 | 無回答 |
|-------|------------|-------|-------|--------|--------|-----|
| 小学5年生 | 3,435 | 78.5 | 10.8 | 8.4 | 2.4 | 0.0 |
| 中学2年生 | 2,954 | 73.8 | 12.9 | 11.3 | 1.9 | 0.1 |
| 高校2年生 | 173 | 69.9 | 15.0 | 15.0 | 0.0 | 0.0 |

⑤ 健康状態

健康状態は、いずれの学校種でも「よい」が最も高くなっている。

図表－5 健康状態

(%)

| | 調査数 (n) | よい | まあよい | ふつう | あまりよくない | よくない | 無回答 |
|-------|------------|------|------|------|---------|------|-----|
| 小学5年生 | 3,435 | 74.3 | 14.7 | 9.3 | 1.3 | 0.1 | 0.2 |
| 中学2年生 | 2,954 | 67.7 | 17.1 | 12.4 | 2.4 | 0.3 | 0.1 |
| 高校2年生 | 173 | 68.8 | 13.9 | 13.9 | 3.5 | 0.0 | 0.0 |

(2) ふだんの生活について

① 学校への通学状況：出席状況

学校の出席状況は、「ほとんど欠席しない」が最も高くなっている。

図表－6 出席状況

(%)

| | 調査数 (n) | ほとんど 欠席 しない | たまに 欠席する | よく 欠席する | 無回答 |
|-------|------------|-------------------|-------------|------------|-----|
| 小学5年生 | 3,435 | 90.6 | 6.6 | 2.6 | 0.2 |
| 中学2年生 | 2,954 | 86.0 | 8.6 | 5.1 | 0.3 |
| 高校2年生 | 173 | 83.2 | 11.6 | 5.2 | 0.0 |

② 学校への通学状況：遅刻や早退の状況

学校の遅刻や早退の状況は、「ほとんどしない」が最も高くなっている。

図表－7 遅刻や早退の状況

(%)

| | 調査数 (n) | ほとんど しない | たまに する | よく する | 無回答 |
|-------|------------|-------------|-----------|----------|-----|
| 小学5年生 | 3,435 | 87.9 | 4.7 | 1.9 | 5.4 |
| 中学2年生 | 2,954 | 80.6 | 8.1 | 3.7 | 7.7 |
| 高校2年生 | 173 | 83.2 | 8.7 | 1.7 | 6.4 |

③ 部活動・課外活動への参加状況

部活動・課外活動への参加状況は、「参加している」が最も高くなっている。

図表－8 部活動・課外活動への参加状況

(%)

| | 調査数 (n) | 参加 している | 参加 していない | 無回答 |
|-------|------------|------------|-------------|-----|
| 小学5年生 | 3,435 | 79.4 | 20.5 | 0.1 |
| 中学2年生 | 2,954 | 90.3 | 9.5 | 0.2 |
| 高校2年生 | 173 | 88.4 | 11.6 | 0.0 |

④ ふだんの学校生活等であてはまること

ふだんの学校生活等であてはまることについては、「あてはまるものはない」が最も高くなっているが、その他では、高校2年生で、「授業中に居眠りすることが多い」が高くなっている。

図表－9 ふだんの学校生活等であてはまること(複数回答)

(%)

| | 調査数(n) | 授業中に居眠りすることが多い | 宿題や課題ができていないことが多い | 持ち物の忘れ物が多い | 部活動や習い事を休むことが多い | 提出しなければならない書類などの提出が遅れることが多い | 修学旅行などの宿泊行事を欠席する | 保健室で過ごすことが多い | 学校では一人で過ごすことが多い | 友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない | あてはまるものはない | 無回答 |
|-------|--------|----------------|-------------------|------------|-----------------|-----------------------------|------------------|--------------|-----------------|--------------------------|------------|-----|
| 小学5年生 | 3,435 | 2.1 | 5.4 | 16.3 | 0.8 | 9.0 | 0.5 | 0.8 | 3.9 | 3.1 | 73.0 | 1.4 |
| 中学2年生 | 2,954 | 9.9 | 11.5 | 13.5 | 5.8 | 13.3 | 1.4 | 1.5 | 6.3 | 5.9 | 63.1 | 2.0 |
| 高校2年生 | 173 | 35.8 | 6.9 | 7.5 | 8.1 | 6.4 | 1.2 | 0.0 | 5.2 | 6.9 | 48.6 | 1.2 |

※小学5年生向けには、漢字のひらがな表記への書き換えや、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「宿題や課題ができていないことが多い」→「宿題ができていないことが多い」
- ・「持ち物の忘れ物が多い」→「わすれ物が多い」
- ・「部活動や習い事を休むことが多い」→「課外活動、じゅく・習い事を休むことが多い」
- ・「提出しなければならない書類などの提出が遅れることが多い」→「先生に出す提出物が遅くなるが多い」
- ・「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」→「野外活動などの宿泊行事を欠席する」
- ・「友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」→「友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」

⑤ 現在の悩みや困りごと

現在の悩みや困りごとは、「特にない」が最も高くなっているが、中学2年生および高校2年生では、「進路のこと」、「学業成績のこと」が高くなっている。

図表-10 現在の悩みや困りごと(複数回答)

| | 調査数(n) | 友達との関係のこと | 勉強や成績のこと | 将来のこと | お金のこと | 課外活動、じゆく・習い事ができないこと | 自分と家族との関係のこと | 家族内の人間関係のこと (両親の仲がよくないなど) | 病気やしょうがいのある家族のこと | 自分のために使える時間が少ないこと | 特にない | その他 | 無回答 |
|-------|--------|-----------|----------|-------|-------|---------------------|--------------|------------------------------|------------------|-------------------|------|-----|-----|
| 小学5年生 | 3,435 | 9.1 | 9.8 | 7.6 | 3.2 | 0.7 | 1.8 | 2.0 | 0.6 | 1.5 | 77.9 | 1.8 | 0.2 |

| | 調査数(n) | 友人との関係のこと | 学業成績のこと | 進路のこと | 部活動のこと | 学費(教材費、部費)など学校生活に必要なお金のこと | 塾(通信講座含む)や習い事ができないこと | 家庭の経済的状況のこと | 自分と家族との関係のこと | 家族内の人間関係のこと (両親の仲が良くないなど) | 病気や障害のある家族のこと | 自分のために使える時間が少ないこと | 特にない | その他 | 無回答 |
|-------|--------|-----------|---------|-------|--------|---------------------------|----------------------|-------------|--------------|------------------------------|---------------|-------------------|------|-----|-----|
| 中学2年生 | 2,954 | 10.6 | 25.5 | 27.0 | 11.7 | 1.4 | 1.2 | 2.5 | 3.4 | 2.6 | 0.7 | 2.6 | 58.7 | 2.4 | 0.1 |
| 高校2年生 | 173 | 9.2 | 23.1 | 31.2 | 8.7 | 2.9 | 0.6 | 3.5 | 4.6 | 1.2 | 0.0 | 4.6 | 56.1 | 1.2 | 0.6 |

⑥ 悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無

何らかの悩みや困りごとがあると回答した人に、相談相手・話を聞いてくれる人の有無について聞いたところ、いずれの学校種でも「相談にのってくれる人や話を聞いてくれる人がいる」が最も高くなっている。

図表-11 悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無

| | 調査数(n) | 相談にのってくれる人や話を聞いてくれる人がいる | 相談にのってくれる人や話を聞いてくれる人がいない | 相談や話はしたくない | 無回答 |
|-------|--------|-------------------------|--------------------------|------------|------|
| 小学5年生 | 775 | 62.7 | 2.6 | 20.6 | 14.2 |
| 中学2年生 | 1,226 | 65.3 | 3.1 | 17.2 | 14.7 |
| 高校2年生 | 77 | 75.3 | 1.3 | 15.6 | 7.8 |

(3) 家庭や家族のことについて

① 世話をしている家族の有無

世話をしている家族の有無については、以下の通りである。

図表－12 世話をしている家族の有無

(%)

| | 調査数 (n II) | いる | いない | 無回答 |
|-------|---------------|-----|------|-----|
| 小学5年生 | 3,435 | 4.4 | 94.1 | 1.5 |
| 中学2年生 | 2,954 | 2.2 | 96.6 | 1.2 |
| 高校2年生 | 173 | 1.2 | 98.8 | 0.0 |

※以下、(3)において、高校2年生についてはコメントをしていない。

② 世話を必要としている家族

世話を必要としている家族については、小学5年生、中学2年生とも「きょうだい」が最も高くなっている。

図表－13 世話を必要としている家族(複数回答)

(%)

| | 調査数 (n II) | 父母 | 祖父母 | きょうだい | その他 | 無回答 |
|-------|---------------|------|------|-------|-----|-----|
| 小学5年生 | 152 | 7.2 | 3.3 | 81.6 | 4.6 | 7.2 |
| 中学2年生 | 64 | 15.6 | 10.9 | 70.3 | 1.6 | 7.8 |
| 高校2年生 | 2 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 |

※延人数で集計した速報値から集計方法を改めた。

③ 父母の状況、父母への世話の内容

世話を必要としている家族として「父母」と回答した人に、父母の状況を聞いたところ、小学5年生は「身体にしょうがいがある」、中学2年生は「精神疾患（疑い含む）」が高くなっている。

図表-14 父母の状況(複数回答)

(%)

| | 調査数(n) | お年寄り(65歳以上) | 自分より小さい子ども | 介護が必要 | 身体にしょうがいがある | 病気 | その他 | 無回答 |
|-------|--------|-------------|------------|-------|-------------|-----|------|-----|
| 小学5年生 | 11 | 0.0 | 0.0 | 9.1 | 36.4 | 9.1 | 54.5 | 9.1 |

(%)

| | 調査数(n) | 高齢(65歳以上) | 幼い | 要介護(介護が必要な状態) | 認知症 | 身体障害 | 知的障害 | 精神疾患(疑い含む) | 依存症(アルコール依存症、ギャンブル依存症など疑い含む) | 精神疾患、依存症以外の病気 | その他 | 無回答 |
|-------|--------|-----------|-----|---------------|-----|------|------|------------|------------------------------|---------------|------|------|
| 中学2年生 | 10 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 40.0 | 20.0 | 30.0 | 10.0 | 10.0 |

世話を必要としている家族として「父母」と回答した人に、世話の内容を聞いたところ、小学5年生、中学2年生とも「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が最も高くなっている。

図表-15 父母への世話の内容(複数回答)

(%)

| | 調査数(n) | 家事(食事の準備や掃除、洗濯) | きょうだいの世話や保育所等への送迎など | 身体的な介護(入浴やトイレのお世話など) | 外出の付き添い(買い物、散歩など) | 通院の付き添い | 感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど) | 見守り | 通訳(日本語や手話など) | 金銭管理 | 薬の管理 | その他 | 無回答 |
|-------|--------|-----------------|---------------------|----------------------|-------------------|---------|---------------------------|------|--------------|------|------|------|------|
| 小学5年生 | 11 | 45.5 | 0.0 | 0.0 | 18.2 | 0.0 | 9.1 | 9.1 | 9.1 | 0.0 | 9.1 | 18.2 | 9.1 |
| 中学2年生 | 10 | 50.0 | 0.0 | 10.0 | 40.0 | 0.0 | 30.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 0.0 | 10.0 |

※小学5年生向けには、漢字のひらがな表記への書き換えや、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」→「きょうだいの世話や保育所等への送りむかえ」
- ・「身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)」→「入浴やトイレのお世話など」
- ・「通院の付き添い」→「病院への付きそい」
- ・「感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)」→「ぐちを聞く、話し相手になるなど」
- ・「金銭管理」→「お金の管理」

④ 祖父母の状況、祖父母への世話の内容

世話を必要としている家族として「祖父母」と回答した人に、祖父母の状況を聞いたところ、小学5年生、中学2年生とも「お年寄り・高齢（65歳以上）」が最も高く、次いで、小学5年生では「身体にしょうがいがある」、中学2年生では「要介護（介護が必要な状態）」が高くなっている。

図表-16 祖父母の状況(複数回答)

(%)

| | 調査数(n) | お年寄り(65歳以上) | 自分より小さい子ども | 介護が必要 | 身体にしょうがいがある | 病気 | その他 | 無回答 |
|-------|--------|-------------|------------|-------|-------------|------|------|-----|
| 小学5年生 | 5 | 80.0 | 20.0 | 20.0 | 40.0 | 20.0 | 20.0 | 0.0 |

(%)

| | 調査数(n) | 高齢(65歳以上) | 若い | 要介護(介護が必要な状態) | 認知症 | 身体障害 | 知的障害 | 精神疾患(疑い含む) | 依存症(アルコール依存症、ギャンブル依存症など疑い含む) | 精神疾患、依存症以外の病気 | その他 | 無回答 |
|-------|--------|-----------|-----|---------------|------|------|------|------------|------------------------------|---------------|-----|-----|
| 中学2年生 | 7 | 100.0 | 0.0 | 42.9 | 28.6 | 28.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 |

世話を必要としている家族として「祖父母」と回答した人に、世話の内容を聞いたところ、中学2年生では「見守り」が最も高くなっている。

図表-17 祖父母への世話の内容(複数回答)

(%)

| | 調査数(n) | 除、洗濯 | 家事(食事の準備や掃除) | 育所等への送迎など | きょうだいの世話や保育 | 身体的な介護(入浴やトイレのお世話など) | 物、散歩など) | 外出の付き添い(買い物、散歩など) | 通院の付き添い | 感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど) | 見守り | 通訳(日本語や手話など) | 金銭管理 | 薬の管理 | その他 | 無回答 |
|-------|--------|------|--------------|-----------|-------------|----------------------|---------|-------------------|---------|---------------------------|-----|--------------|------|------|-----|-----|
| 小学5年生 | 5 | 40.0 | 0.0 | 0.0 | 40.0 | 20.0 | 40.0 | 40.0 | 40.0 | 0.0 | 0.0 | 40.0 | 40.0 | 40.0 | 0.0 | |
| 中学2年生 | 7 | 42.9 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 14.3 | 57.1 | 85.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 28.6 | 0.0 | |

※小学5年生向けには、漢字のひらがな表記への書き換えや、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」→「きょうだいの世話や保育所等への送りむかえ」
- ・「身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)」→「入浴やトイレのお世話など」
- ・「通院の付き添い」→「病院への付きそい」
- ・「感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)」→「ぐちを聞く、話し相手になるなど」
- ・「金銭管理」→「お金の管理」

⑤ きょうだいの状況、きょうだいへの世話の内容

世話を必要としている家族として「きょうだい」と回答した人に、きょうだいの状況を聞いたところ、小学5年生、中学2年生とも「自分より小さい子ども・幼い」が最も高くなっている。

図表-18 きょうだいの状況(複数回答)

(%)

| | 調査数(n) | お年寄り(65歳以上) | 自分より小さい子ども | 介護が必要 | 身体にしょうがいがある | 病気 | その他 | 無回答 |
|-------|--------|-------------|------------|-------|-------------|-----|-----|-----|
| 小学5年生 | 124 | 0.0 | 94.4 | 0.8 | 2.4 | 0.8 | 4.0 | 0.8 |

(%)

| | 調査数(n) | 高齢(65歳以上) | 幼い | 要介護(介護が必要な状態) | 認知症 | 身体障害 | 知的障害 | 精神疾患(疑い含む) | 依存症(アルコール依存症、ギャンブル依存症など疑い含む) | 精神疾患、依存症以外の病気 | その他 | 無回答 |
|-------|--------|-----------|------|---------------|-----|------|------|------------|------------------------------|---------------|------|-----|
| 中学2年生 | 45 | 0.0 | 71.1 | 0.0 | 0.0 | 6.7 | 15.6 | 4.4 | 0.0 | 2.2 | 6.7 | 2.2 |
| 高校2年生 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |

世話を必要としている家族として「きょうだい」と回答した人に、世話の内容を聞いたところ、小学5年生、中学2年生とも「見守り」が最も高くなっている。

図表-19 きょうだいへの世話の内容(複数回答)

(%)

| | 調査数(n) | 家事(食事の準備や掃除、洗濯) | きょうだいの世話や保育所等への送迎など | 身体的な介護(入浴やトイレのお世話など) | 外出の付き添い(買い物、散歩など) | 通院の付き添い | 感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど) | 見守り | 通訳(日本語や手話など) | 金銭管理 | 薬の管理 | その他 | 無回答 |
|-------|--------|-----------------|---------------------|----------------------|-------------------|---------|---------------------------|-------|--------------|------|------|-----|-----|
| 小学5年生 | 124 | 8.1 | 33.9 | 37.1 | 13.7 | 0.8 | 24.2 | 55.6 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | 8.1 | 0.8 |
| 中学2年生 | 45 | 37.8 | 51.1 | 4.4 | 20.0 | 2.2 | 17.8 | 73.3 | 0.0 | 0.0 | 4.4 | 4.4 | 2.2 |
| 高校2年生 | 2 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 50.0 | 0.0 | 100.0 | 100.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

※小学5年生向けには、漢字のひらがな表記への書き換えや、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」→「きょうだいの世話や保育所等への送りむかえ」
- ・「身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)」→「入浴やトイレのお世話など」
- ・「通院の付き添い」→「病院への付きそい」
- ・「感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)」→「ぐちを聞く、話し相手になるなど」
- ・「金銭管理」→「お金の管理」

⑥ 世話を一緒にしている人

世話を一緒にしている人については、小学5年生、中学2年生とも「母親」が最も高く、次いで「父親」となっている。

図表-20 世話を一緒にしている人(複数回答)

(%)

| | 調査数 (nⅡ) | 母親 | 父親 | 祖母 | 祖父 | きょうだい | 親せき | 自分のみ | 福祉サービス(ヘルパーなど)を利用 | その他 | 無回答 |
|-------|-------------|------|------|------|-----|-------|-----|------|-------------------|-----|------|
| 小学5年生 | 152 | 61.2 | 46.1 | 13.2 | 5.9 | 32.2 | 1.3 | 9.2 | 2.0 | 0.7 | 24.3 |
| 中学2年生 | 64 | 57.8 | 42.2 | 9.4 | 7.8 | 37.5 | 3.1 | 6.3 | 9.4 | 4.7 | 14.1 |
| 高校2年生 | 2 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |

⑦ 世話を始めた年齢

世話を始めた年齢については、小学5年生は平均 8.3 歳、中学2年生は平均 9.5 歳となっている。世話を始めた年齢をカテゴリー化すると、小学5年生、中学2年生とも「小学生(高学年)」が最も高くなっている。

図表-21 世話を始めた年齢

(%)

| | 調査数 (nⅡ) | 就学前 | 小学生(低学年) | 小学生(高学年) | 中学生以降 | 無回答 |
|-------|-------------|------|----------|----------|-------|------|
| 小学5年生 | 152 | 7.9 | 36.8 | 44.7 | 0.0 | 10.5 |
| 中学2年生 | 64 | 10.9 | 20.3 | 35.9 | 26.6 | 6.3 |
| 高校2年生 | 2 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 |

⑧ 世話をしている頻度

世話をしている頻度については、小学5年生、中学2年生とも「ほぼ毎日」が最も高くなっている。

図表-22 世話をしている頻度

(%)

| | 調査数(n) | ほぼ毎日 | 週に3~5日 | 週に1~2日 | 1か月に数日 | その他 | 無回答 |
|-------|--------|------|--------|--------|--------|-----|------|
| 小学5年生 | 152 | 57.2 | 17.8 | 9.2 | 5.9 | 1.3 | 8.6 |
| 中学2年生 | 64 | 57.8 | 20.3 | 10.9 | 4.7 | 4.7 | 1.6 |
| 高校2年生 | 2 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |

⑨ 平日1日あたりの世話に費やす時間

平日1日あたりの世話に費やす時間については、小学5年生は平均2.1時間、中学2年生は平均2.9時間となっている。(※1時間未満、11時間以上と回答したものは、それぞれ、1時間、11時間として平均値を算出。)

平日1日あたりの世話に費やす時間をカテゴリー化すると、小学5年生、中学2年生とも「3時間未満」が最も高くなっている。

図表-23 世話に費やす時間(平日1日あたり)

(%)

| | 調査数(n) | 3時間未満 | 3~7時間未満 | 7時間以上 | 無回答 |
|-------|--------|-------|---------|-------|------|
| 小学5年生 | 152 | 64.5 | 18.4 | 3.3 | 13.8 |
| 中学2年生 | 64 | 60.9 | 21.9 | 10.9 | 6.3 |
| 高校2年生 | 2 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 |

⑩ 世話をしているために、やりたいけれどできていないこと

世話をしているために、やりたいけれどできていないことについては、小学5年生、中学2年生とも「特にない」が最も高く、次いで、「自分の時間が取れない」が高くなっている。

図表－24 世話をしているために、やりたいけれどできていないこと(複数回答)

(%)

| | 調査数(nⅡ) | 学校に行きたくても行けない | どうしても学校を遅刻・早退してしまう | 宿題をする時間や勉強する時間が取れない | ねる時間が十分に取れない | 友達と遊ぶことができない | 課外活動、じゆく・習い事ができない、またはやめなければならなかった | 自分の時間が取れない | 特にない | その他 | 無回答 |
|-------|---------|---------------|--------------------|---------------------|--------------|--------------|-----------------------------------|------------|------|-----|-----|
| 小学5年生 | 152 | 0.7 | 3.9 | 4.6 | 4.6 | 4.6 | 0.0 | 12.5 | 72.4 | 1.3 | 7.9 |

(%)

| | 調査数(nⅡ) | 学校に行きたくても行けない | どうしても学校を遅刻・早退してしまう | 宿題をする時間や勉強する時間が取れない | 睡眠が十分に取れない | 友人と遊ぶことができない | 部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった | 進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した | 自分の時間が取れない | 特にない | その他 | 無回答 |
|-------|---------|---------------|--------------------|---------------------|------------|--------------|----------------------------|----------------------------|------------|------|-----|------|
| 中学2年生 | 64 | 0.0 | 1.6 | 14.1 | 12.5 | 12.5 | 4.7 | 0.0 | 21.9 | 68.8 | 3.1 | 3.1 |
| 高校2年生 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 |

⑪ 世話をすることに感じている大変さ

世話をすることに感じている大変さについては、小学5年生、中学2年生とも「特に大変さは感じていない」が最も高くなっている。

図表-25 世話をすることに感じている大変さ(複数回答)

(%)

| | 調査数(n) | 身体的に大変である | 精神的に大変である | 時間的余裕がない | 特に大変さは感じていない | 無回答 |
|-------|--------|-----------|-----------|----------|--------------|------|
| 小学5年生 | 152 | 12.5 | 9.9 | 9.9 | 67.8 | 7.2 |
| 中学2年生 | 64 | 7.8 | 23.4 | 12.5 | 70.3 | 3.1 |
| 高校2年生 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 |

※小学5年生向けには、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「身体的に大変である」→「体がつかれて大変」
- ・「精神的に大変である」→「心がつかれて大変」
- ・「時間的余裕がない」→「時間によゆうがなくて大変」

⑫ 世話について相談した経験

世話について相談した経験は、小学5年生、中学2年生で、「ある」が2～3割、「ない」が6～7割となっている。

図表-26 世話について相談した経験

(%)

| | 調査数(n) | ある | ない | 無回答 |
|-------|--------|------|------|-----|
| 小学5年生 | 152 | 24.3 | 71.7 | 3.9 |
| 中学2年生 | 64 | 32.8 | 65.6 | 1.6 |
| 高校2年生 | 2 | 50.0 | 50.0 | 0.0 |

⑬ 世話についての相談相手

世話について相談した経験が「ある」と回答した人に、世話についての相談相手を聞いたところ、小学5年生、中学2年生とも「家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）」が最も高く、次いで、小学5年生では「友達」、中学2年生では「学校の先生（保健室の先生以外）」が高くなっている。

図表-27 世話についての相談相手（複数回答）

(%)

| | 調査数 (n=) | 家族（母、父、祖母、祖父、きょうだい） | 親せき（おじ、おばなど） | 友人 | 学校の先生（保健室の先生以外） | 保健室の先生 | スクールカウンセラーや、さわやか相談員 | 医師や看護師、その他病院の人 | ヘルパーやケアマネジャー、福祉サービスの人 | 役所や保健福祉センターの人 | 近所の人 | SNS上での知り合い | その他 | 無回答 |
|-------|----------|---------------------|--------------|------|-----------------|--------|---------------------|----------------|-----------------------|---------------|------|------------|-----|------|
| 小学5年生 | 37 | 75.7 | 0.0 | 16.2 | 8.1 | 5.4 | 5.4 | 2.7 | 2.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.8 |
| 中学2年生 | 21 | 81.0 | 9.5 | 38.1 | 42.9 | 0.0 | 4.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.8 | 0.0 |

※小学5年生向けには、漢字のひらがな表記への書き換えや、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「友人」→「友達」
- ・「医師や看護師、その他病院の人」→「お医者さんや看護師さん、その他病院の人」
- ・「ヘルパーやケアマネジャー、福祉サービスの人」→「ヘルパーさんや福祉サービスの人」

⑭ 世話について相談したことがない理由

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、その理由について聞いたところ、小学5年生、中学2年生とも「誰かに相談するほどの悩みではない」が最も高くなっている。また、中学2年生では、「家族のこのため話しにくい」、「相談しても状況が変わるとは思わない」、「家族に対して偏見を持たれたくない」などの割合が高くなっている。

図表-28 世話について相談したことがない理由（複数回答）

(%)

| | 調査数 (n=) | 誰かに相談するほどの悩みではない | 誰に相談するのがよいかわからない | 相談できる人が身近にいない | 家族のことを知られてたくない | 家族や自分のことを変な目で見られたくない | 相談しても今よりよくなるとは思わない | その他 | 無回答 |
|-------|----------|------------------|------------------|---------------|----------------|----------------------|--------------------|------|-----|
| 小学5年生 | 109 | 83.5 | 2.8 | 1.8 | 3.7 | 2.8 | 5.5 | 11.0 | 0.0 |

(%)

| | 調査数 (n=) | 誰かに相談するほどの悩みではない | 家族以外の人に相談するほどの悩みではない | 誰に相談するのがよいかわからない | 相談できる人が身近にいない | 家族のこのため話しにくい | 家族のことを知られてたくない | 家族に対して偏見を持たれたくない | 相談しても状況が変わるとは思わない | その他 | 無回答 |
|-------|----------|------------------|----------------------|------------------|---------------|--------------|----------------|------------------|-------------------|-----|-----|
| 中学2年生 | 42 | 66.7 | 9.5 | 2.4 | 4.8 | 19.0 | 4.8 | 14.3 | 16.7 | 9.5 | 2.4 |

⑮ 世話について話を聞いてくれる人の有無

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、世話について話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、小学5年生の約8割、中学2年生の約7割が「いる」と回答している。

図表-29 世話について話を聞いてくれる人の有無

(%)

| | 調査数(n=) | いる | いない | 無回答 |
|-------|---------|------|------|-----|
| 小学5年生 | 109 | 77.1 | 16.5 | 6.4 |
| 中学2年生 | 42 | 69.0 | 23.8 | 7.1 |

⑯ 学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援

学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援については、小学5年生、中学2年生とも「特にない」が6割以上となっており、次いで、中学2年生では、「自由に使える時間がほしい」、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」が高くなっている。

図表-30 学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援(複数回答)

(%)

| | 調査数(n=) | 自分の今の状況について話を聞いてほしい | 家族のお世話について相談にのってほしい | 家族の病気や障害、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい | 自分がしているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい | 自分がしているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい | 自由に使える時間がほしい | 進路や就職など将来の相談にのってほしい | 学校の勉強や受験勉強など学習のサポート | 家庭への経済的な支援 | わからない | 特にない | その他 | 無回答 |
|-------|---------|---------------------|---------------------|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|--------------|---------------------|---------------------|------------|-------|------|-----|------|
| 小学5年生 | 152 | 4.6 | 0.7 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 3.9 | 3.3 | 7.9 | 3.3 | 13.2 | 69.7 | 0.7 | 2.6 |
| 中学2年生 | 64 | 7.8 | 4.7 | 0.0 | 1.6 | 1.6 | 17.2 | 9.4 | 17.2 | 7.8 | 6.3 | 64.1 | 1.6 | 0.0 |
| 高校2年生 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 |

※小学5年生向けには、漢字のひらがな表記への書き換えや、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「家族の病気や障害、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい」→「家族の病気やしょうがい、お世話のしかたなどについてわかりやすく説明してほしい」
- ・「進路や就職など将来の相談にのってほしい」→「将来のことについて相談にのってほしい」
- ・「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」→「学校の勉強のサポートをしてほしい」
- ・「家庭への経済的な支援」→「家庭へのお金についてのサポートをしてほしい」

(4) ヤングケアラーについて

① ヤングケアラーの自覚

自分がヤングケアラーにあてはまると思うかについて聞いたところ、小学5年生では「あてはまる」が1.0%、中学2年生では0.8%、高校2年生では1.2%となっている。

家族の世話の有無別にみると、世話をしている家族がいる場合は、いない場合と比べて、「あてはまる」、「わからない」の割合が高くなっている。

図表-31 自分はヤングケアラーにあてはまると思うか

(%)

| | 調査数(n) | あてはまる | あてはまらない | わからない | 無回答 |
|-------|--------|-------|---------|-------|-----|
| 小学5年生 | 3,435 | 1.0 | 91.2 | 6.6 | 1.3 |
| 中学2年生 | 2,954 | 0.8 | 91.1 | 7.4 | 0.6 |
| 高校2年生 | 173 | 1.2 | 90.2 | 7.5 | 1.2 |

<小学5年生>

(%)

| | | 調査数(n) | あてはまる | あてはまらない | わからない | 無回答 |
|-----------|-----|--------|-------|---------|-------|-----|
| 小学5年生 | | 3,435 | 1.0 | 91.2 | 6.6 | 1.3 |
| 世話をしている家族 | いる | 152 | 6.6 | 66.4 | 22.4 | 4.6 |
| | いない | 3,233 | 0.7 | 92.5 | 5.8 | 1.0 |

<中学2年生>

(%)

| | | 調査数(n) | あてはまる | あてはまらない | わからない | 無回答 |
|-----------|-----|--------|-------|---------|-------|-----|
| 中学2年生 | | 2,954 | 0.8 | 91.1 | 7.4 | 0.6 |
| 世話をしている家族 | いる | 64 | 12.5 | 50.0 | 35.9 | 1.6 |
| | いない | 2,855 | 0.5 | 92.2 | 6.7 | 0.6 |

<高校2年生>

(%)

| | | 調査数 (nII) | あてはまる | あてはまらない | わからない | 無回答 |
|-----------|-----|--------------|-------|---------|-------|-----|
| 高校2年生 | | 173 | 1.2 | 90.2 | 7.5 | 1.2 |
| 世話をしている家族 | いる | 2 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |
| | いない | 171 | 0.6 | 91.2 | 7.0 | 1.2 |

② ヤングケアラーの認知度

ヤングケアラーの認知度については、「聞いたことはない」が小学5年生で約7割、中学2年生と高校2年生では5割強を占めている。

図表-32 ヤングケアラーの認知度

(%)

| | 調査数 (nII) | 聞いたことがあり、内容も知っている | 聞いたことはあるが、よく知らない | 聞いたことはない | 無回答 |
|-------|--------------|-------------------|------------------|----------|-----|
| 小学5年生 | 3,435 | 13.2 | 15.8 | 70.5 | 0.5 |
| 中学2年生 | 2,954 | 24.1 | 19.6 | 55.9 | 0.4 |
| 高校2年生 | 173 | 27.7 | 19.7 | 52.6 | 0.0 |

③ ヤングケアラーについて知ったきっかけ

ヤングケアラーについて、「聞いたことがあり、内容も知っている」、「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した人に、知ったきっかけを聞いたところ、いずれの学校種でも「テレビや新聞、ラジオ」が最も高くなっている。

図表-33 ヤングケアラーについて知ったきっかけ(複数回答)

(%)

| | 調査数 (nII) | テレビや新聞、ラジオ | 雑誌や本 | SNSやインターネット | 広告やチラシ、掲示物 | イベントや交流会など | 学校 | 友人・知人から聞いた | その他 | 無回答 |
|-------|--------------|------------|------|-------------|------------|------------|------|------------|-----|-----|
| 小学5年生 | 998 | 68.3 | 7.0 | 7.6 | 9.1 | 0.5 | 18.8 | 4.3 | 6.3 | 2.5 |
| 中学2年生 | 1,290 | 72.4 | 9.1 | 18.8 | 6.8 | 0.2 | 16.7 | 4.1 | 6.9 | 0.9 |
| 高校2年生 | 82 | 70.7 | 4.9 | 20.7 | 4.9 | 0.0 | 25.6 | 3.7 | 1.2 | 2.4 |

※小学5年生向けには、漢字のひらがな表記への書き換えや、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

・「友人・知人から聞いた」→「友達・知り合いから聞いた」

3. アンケート調査結果の詳細分析

ここでは、「世話をしている家族がいる」と回答した児童生徒の状況をさらに詳しく分析するため、小学5年生、中学2年生、高校2年生の回答を合計して集計した。

(1) 家族の世話の有無による学校生活等の状況

① 家族の世話の有無×家族構成

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「ひとり親家庭」の割合が高くなっている。

図表－34 家族の世話の有無×家族構成

(%)

| | | 調査数 (n) | 二世 代世帯 | 三世 代世帯 | ひとり 親家庭 | 一人 暮らし | その他 の世帯 | 無 回答 |
|---------------|-----|------------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|---------|
| 世話をしている 家族 | いる | 218 | 69.3 | 12.4 | 15.1 | 0.0 | 3.2 | 0.0 |
| | いない | 6,259 | 76.5 | 11.7 | 9.7 | 0.0 | 2.1 | 0.0 |

② 家族の世話の有無×健康状態

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、健康状態が「よくない・あまりよくない」の割合が高くなっている。

図表－35 家族の世話の有無×健康状態

(%)

| | | 調査数 (n) | よい・ま あよい | ふつ う | よくない・ あまりよく ない | 無 回答 |
|---------------|-----|------------|-------------|---------|----------------------|---------|
| 世話をしている 家族 | いる | 218 | 83.0 | 12.4 | 4.1 | 0.5 |
| | いない | 6,259 | 87.0 | 10.8 | 2.0 | 0.1 |

③ 家族の世話の有無×出席状況

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「たまに欠席する」、「よく欠席する」の割合が高くなっている。

図表－36 家族の世話の有無×出席状況

(%)

| | | 調査数(n) | ほとんど欠席しない | たまに欠席する | よく欠席する | 無回答 |
|-----------|-----|--------|-----------|---------|--------|-----|
| 世話をしている家族 | いる | 218 | 81.7 | 12.4 | 5.5 | 0.5 |
| | いない | 6,259 | 88.6 | 7.5 | 3.7 | 0.2 |

④ 家族の世話の有無×遅刻や早退の状況

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、遅刻や早退を「たまにする」、「よくする」の割合が高くなっている。

図表－37 家族の世話の有無×遅刻や早退の状況

(%)

| | | 調査数(n) | ほとんどしない | たまにする | よくする | 無回答 |
|-----------|-----|--------|---------|-------|------|-----|
| 世話をしている家族 | いる | 218 | 78.9 | 10.1 | 6.0 | 5.0 |
| | いない | 6,259 | 84.9 | 6.2 | 2.6 | 6.4 |

⑤ 家族の世話の有無×ふだんの学校生活等であてはまること

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、全体的に回答割合が高い傾向にあるが、特に「持ち物の忘れ物が多い」、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」、「宿題や課題ができていないことが多い」、「授業中に居眠りすることが多い」が高くなっている。

図表-38 家族の世話の有無×ふだんの学校生活等であてはまること(複数回答)

(%)

| | | 調査数(n=) | 授業中に居眠りすることが多い | 宿題や課題ができていないことが多い | 持ち物の忘れ物が多い | 部活動や習い事を休むことが多い | 提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い | 修学旅行などの宿泊行事を欠席する | 保健室で過ごすことが多い | 学校では一人で過ごすことが多い | 友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない | あてはまるものはない | 無回答 |
|-----------|-----|---------|----------------|-------------------|------------|-----------------|-----------------------------|------------------|--------------|-----------------|--------------------------|------------|-----|
| 世話をしている家族 | いる | 218 | 11.5 | 13.3 | 22.0 | 6.0 | 16.5 | 1.4 | 2.3 | 5.5 | 5.5 | 55.0 | 0.5 |
| | いない | 6,259 | 6.3 | 8.0 | 14.5 | 3.1 | 10.7 | 0.9 | 1.1 | 5.0 | 4.4 | 68.5 | 1.6 |

※小学5年生向けには、漢字のひらがな表記への書き換えや、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「宿題や課題ができていないことが多い」→「宿題ができていないことが多い」
- ・「持ち物の忘れ物が多い」→「わすれ物が多い」
- ・「部活動や習い事を休むことが多い」→「課外活動、じゅく・習い事を休むことが多い」
- ・「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」→「先生に出す提出物が遅くなるが多い」
- ・「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」→「野外活動などの宿泊行事を欠席する」
- ・「友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」→「友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」

⑥ 家族の世話の有無×現在の悩みや困りごと

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、全体的に回答割合が高い傾向にあるが、特に小学5年生については、「勉強や成績のこと」「友達との関係のこと」、中学2年生、高校2年生については、「学業成績のこと」、「進路のこと」が高くなっている。

図表-39 家族の世話の有無×現在の悩みや困りごと(複数回答)

<小学5年生>

(%)

| | | 調査数(n=) | 友達との関係のこと | 勉強や成績のこと | 将来のこと | お金のこと | 課外活動、じゅく・習い事ができないこと | 自分と家族との関係のこと | 家族内の人間関係のこと (両親の仲がよくないなど) | 病気やしょうがいのある家族のこと | 自分のために使える時間が少ないこと | 特にない | その他 | 無回答 |
|-----------|-----|---------|-----------|----------|-------|-------|---------------------|--------------|------------------------------|------------------|-------------------|------|-----|-----|
| 世話をしている家族 | いる | 152 | 18.4 | 19.1 | 13.8 | 5.9 | 1.3 | 3.3 | 4.6 | 3.9 | 6.6 | 61.8 | 1.3 | 1.3 |
| | いない | 3,233 | 8.6 | 9.2 | 7.3 | 3.1 | 0.7 | 1.7 | 1.9 | 0.5 | 1.3 | 78.7 | 1.8 | 0.2 |

<中学2年生、高校2年生>

(%)

| | | 調査数(n=) | 友人との関係のこと | 学業成績のこと | 進路のこと | 部活動のこと | 学費(教材費、部費)など学校生活に必要なお金のこと | 塾(通信講座含む)や習い事ができないこと | 家庭の経済的状況のこと | 自分と家族との関係のこと | 家族内の人間関係のこと (両親の仲が良くないなど) | 病気や障害のある家族のこと | 自分のために使える時間が少ないこと | 特にない | その他 | 無回答 |
|-----------|-----|---------|-----------|---------|-------|--------|---------------------------|----------------------|-------------|--------------|------------------------------|---------------|-------------------|------|-----|-----|
| 世話をしている家族 | いる | 66 | 15.2 | 45.5 | 42.4 | 24.2 | 7.6 | 4.5 | 16.7 | 16.7 | 10.6 | 10.6 | 16.7 | 33.3 | 4.5 | 0.0 |
| | いない | 3,026 | 10.5 | 24.9 | 27.1 | 11.2 | 1.4 | 1.0 | 2.2 | 3.2 | 2.3 | 0.5 | 2.4 | 59.2 | 2.2 | 0.2 |

⑦ 家族の世話の有無×相談相手の有無

相談相手の有無については、世話をしている家族がいる場合といない場合で、大きな差はみられない。

図表-40 悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無

(%)

| | | 調査数(n=) | 相談にのってくれる人や話を聞いてくれる人がいる | 相談にのってくれる人や話を聞いてくれる人がいない | 相談や話はしたくない | 無回答 |
|-----------|-----|---------|-------------------------|--------------------------|------------|------|
| 世話をしている家族 | いる | 102 | 63.7 | 5.9 | 20.6 | 12.7 |
| | いない | 1,936 | 65.3 | 2.7 | 18.5 | 13.7 |

(2) 性別による世話の状況の違い

① 性別×家族の世話の有無

世話をしている家族の有無については、性別による大きな差はみられない。

図表－41 性別×世話をしている家族の有無

(%)

| | 調査数 (nⅡ) | いる | いない | 無回答 |
|----|-------------|-----|------|-----|
| 男性 | 3,015 | 3.0 | 95.8 | 1.3 |
| 女性 | 3,512 | 3.6 | 95.1 | 1.3 |

② 性別×世話を必要としている家族

世話を必要としている家族については、性別による大きな差はみられない。

図表－42 性別×世話を必要としている家族

(%)

| | 調査数 (nⅡ) | 父母 | 祖父母 | きょうだい | その他 | 無回答 |
|----|-------------|------|-----|-------|-----|-----|
| 男性 | 89 | 10.1 | 4.5 | 75.3 | 3.4 | 9.0 |
| 女性 | 125 | 8.8 | 6.4 | 80.8 | 4.0 | 5.6 |

③ 性別×世話の内容

世話を必要としている家族として、父母、祖父母、きょうだいと回答したものについて、世話の内容を聞いたところ、女性では、男性に比べ、複数回答をしている割合が高く、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」をはじめ多くの項目で、男性よりも高くなっている。

図表－43 性別×世話の内容(複数回答)

(%)

| | 調査数(nⅡ) | 家事(食事の準備や掃除、洗濯) | きょうだいの世話や保育所等への送迎など | 身体的な介護(入浴やトイレのお世話など) | 外出の付き添い(買い物、散歩など) | 通院の付き添い | 感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど) | 見守り | 通訳(日本語や手話など) | 金銭管理 | 薬の管理 | その他 | 無回答 |
|----|---------|-----------------|---------------------|----------------------|-------------------|---------|---------------------------|------|--------------|------|------|-----|-----|
| 男性 | 80 | 15.0 | 27.5 | 18.8 | 11.3 | 1.3 | 18.8 | 53.8 | 2.5 | 0.0 | 1.3 | 7.5 | 2.5 |
| 女性 | 120 | 25.8 | 35.8 | 29.2 | 21.7 | 2.5 | 27.5 | 59.2 | 0.8 | 0.0 | 3.3 | 8.3 | 1.7 |

※小学5年生向けには、漢字のひらがな表記への書き換えや、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」→「きょうだいの世話や保育所等への送りむかえ」
- ・「身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)」→「入浴やトイレのお世話など」
- ・「通院の付き添い」→「病院への付きそい」
- ・「感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)」→「ぐちを聞く、話し相手になるなど」
- ・「金銭管理」→「お金の管理」

④ 性別×世話を始めた年齢

世話を始めた年齢については、男性は平均 8.7 歳、女性は平均 8.6 歳となっている。

図表－44 性別×世話を始めた年齢

(%)

| | 調査数(nⅡ) | 就学前 | 小学生(低学年) | 小学生(高学年) | 中学生以降 | 無回答 |
|----|---------|-----|----------|----------|-------|------|
| 男性 | 89 | 9.0 | 29.2 | 47.2 | 5.6 | 9.0 |
| 女性 | 125 | 8.0 | 33.6 | 38.4 | 9.6 | 10.4 |

⑤ 性別×世話をしている頻度

世話をしている頻度については、「ほぼ毎日」、「週に3～5日」、「週に1～2日」では、性別による大きな差はみられない。

図表－45 性別×世話をしている頻度

(%)

| | 調査数(n) | ほぼ毎日 | 週に3～5日 | 週に1～2日 | 1か月に数日 | その他 | 無回答 |
|----|--------|------|--------|--------|--------|-----|-----|
| 男性 | 89 | 56.2 | 18.0 | 7.9 | 10.1 | 1.1 | 6.7 |
| 女性 | 125 | 59.2 | 16.8 | 11.2 | 2.4 | 3.2 | 7.2 |

⑥ 性別×平日1日あたりの世話に費やす時間

平日1日あたりの世話に費やす時間については、男性は平均1.8時間、女性は平均2.8時間となっている。(※1時間未満、11時間以上と回答したものは、それぞれ、1時間、11時間として平均値を算出。)

性別で見ると、女性は男性に比べ「3～7時間未満」、「7時間以上」の割合が高くなっている。

図表－46 性別×世話に費やす時間(平日1日あたり)

(%)

| | 調査数(n) | 3時間未満 | 3～7時間未満 | 7時間以上 | 無回答 |
|----|--------|-------|---------|-------|------|
| 男性 | 89 | 75.3 | 12.4 | 3.4 | 9.0 |
| 女性 | 125 | 54.4 | 24.0 | 7.2 | 14.4 |

⑦ 性別×世話をすることを感じている大変さ

世話をすることを感じている大変さについては、女性は男性に比べ、「精神的に大変である」、「時間的余裕がない」の割合が高くなっている。

図表－47 世話をすることを感じている大変さ(複数回答)

(%)

| | 調査数(n=) | 身体的に大変である | 精神的に大変である | 時間的余裕がない | 特に大変さは感じていない | 無回答 |
|----|---------|-----------|-----------|----------|--------------|-----|
| 男性 | 89 | 11.2 | 10.1 | 6.7 | 74.2 | 5.6 |
| 女性 | 125 | 10.4 | 16.0 | 14.4 | 64.0 | 6.4 |

※小学5年生向けには、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「身体的に大変である」→「体がつかれて大変」
- ・「精神的に大変である」→「心がつかれて大変」
- ・「時間的余裕がない」→「時間によゆうがなくて大変」

⑧ 世話について相談した経験

世話について相談した経験の有無では、女性は男性に比べ「ある」の割合が高くなっている。

図表－48 世話について相談した経験

(%)

| | 調査数(n=) | ある | ない | 無回答 |
|----|---------|------|------|-----|
| 男性 | 89 | 18.0 | 78.7 | 3.4 |
| 女性 | 125 | 32.8 | 64.0 | 3.2 |

⑨ 性別×世話についての相談相手

世話についての相談相手では、男性、女性ともに、「家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）」が最も高くなっているが、女性は男性に比べ「友人」の割合が高くなっており、男性は女性に比べ「学校の先生（保健室の先生以外）」、「スクールカウンセラーや、さわやか相談員」の割合が高くなっている。

図表－49 性別×世話についての相談相手(複数回答)

(%)

| | 調査数(n=) | 家族(母、父、祖母、祖父、きょうだい) | 親せき(おじ、おばなど) | 友人 | 学校の先生(保健室の先生以外) | 保健室の先生 | スクールカウンセラーや、さわやか相談員 | 医師や看護師、その他病院の人 | ヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人 | 役所や保健福祉センターの人 | 近所の人 | SNS上での知り合い | その他 | 無回答 |
|----|---------|---------------------|--------------|------|-----------------|--------|---------------------|----------------|------------------------|---------------|------|------------|-----|------|
| 男性 | 16 | 100.0 | 0.0 | 18.8 | 25.0 | 0.0 | 12.5 | 0.0 | 6.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性 | 41 | 68.3 | 4.9 | 24.4 | 14.6 | 2.4 | 2.4 | 2.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.4 | 12.2 |

※小学5年生向けには、漢字のひらがな表記への書き換えや、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「友人」→「友達」
- ・「医師や看護師、その他病院の人」→「お医者さんや看護師さん、その他病院の人」
- ・「ヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人」→「ヘルパーさんや福祉サービスの人」

⑩ 性別×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援

学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援については、男性の約8割、女性の6割が「特にない」と回答している。その他、女性は男性に比べ「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」、「自由に使える時間がほしい」などの割合が高くなっている。

図表－50 性別×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援(複数回答)

(%)

| | 調査数(n=) | 自分の今の状況について話を聞いてほしい | 家族のお世話について相談にのってほしい | 家族の病気や障害、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい | 自分がしているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい | 自分がしているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい | 自由に使える時間がほしい | 進路や就職など将来の相談にのってほしい | 学校の勉強や受験勉強など学習のサポート | 家庭への経済的な支援 | わからない | 特にない | その他 | 無回答 |
|----|---------|---------------------|---------------------|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|--------------|---------------------|---------------------|------------|-------|------|-----|-----|
| 男性 | 89 | 5.6 | 2.2 | 1.1 | 0.0 | 1.1 | 4.5 | 5.6 | 4.5 | 1.1 | 5.6 | 79.8 | 0.0 | 0.0 |
| 女性 | 125 | 5.6 | 1.6 | 0.8 | 2.4 | 1.6 | 10.4 | 4.8 | 15.2 | 7.2 | 13.6 | 60.0 | 1.6 | 4.0 |

※小学5年生向けには、漢字のひらがな表記への書き換えや、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「家族の病気や障害、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい」→「家族の病気やしょうがい、お世話のしかたなどについてわかりやすく説明してほしい」
- ・「進路や就職など将来の相談にのってほしい」→「将来のことについて相談にのってほしい」
- ・「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」→「学校の勉強のサポートをしてほしい」
- ・「家庭への経済的な支援」→「家庭へのお金についてのサポートをしてほしい」

(3) 家族構成による世話の状況の違い

① 家族構成×世話を必要としている家族

二世帯世帯、三世帯世帯、ひとり親家庭では、世話を必要としている家族は「きょうだい」の割合が最も高く、三世帯世帯では、次いで「祖父母」の割合が高くなっている。また、ひとり親家庭では、「父母」の割合が高くなっている。

図表－51 家族構成×世話を必要としている家族(複数回答)

(%)

| | 調査数(n) | 父母 | 祖父母 | きょうだい | その他 | 無回答 |
|--------|--------|------|------|-------|------|-----|
| 二世帯世帯 | 151 | 6.6 | 0.0 | 86.8 | 1.3 | 7.3 |
| 三世帯世帯 | 27 | 3.7 | 37.0 | 55.6 | 7.4 | 7.4 |
| ひとり親家庭 | 33 | 24.2 | 0.0 | 69.7 | 3.0 | 9.1 |
| その他の世帯 | 7 | 28.6 | 28.6 | 28.6 | 42.9 | 0.0 |

② 家族構成×世話の内容

世話を必要としている家族として、父母、祖父母、きょうだいと回答したものについて、世話の内容を聞いたところ、二世帯世帯、三世帯世帯では、「見守り」の割合が高くなっている。ひとり親世帯では、他の家族構成と比べて「見守り」の割合が低くなっており、一方で「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」の割合が高くなっている。

図表－52 家族構成×世話の内容(複数回答)

(%)

| | 調査数(n) | 家事(食事の準備や掃除、洗濯) | きょうだいの世話や保育所等への送迎など | 身体的な介護(入浴やトイレのお世話など) | 外出の付き添い(買い物、散歩など) | 通院の付き添い | 感情面のサポート(愚痴を聞く話し相手になるなど) | 見守り | 通訳(日本語や手話など) | 金銭管理 | 薬の管理 | その他 | 無回答 |
|--------|--------|-----------------|---------------------|----------------------|-------------------|---------|--------------------------|------|--------------|------|------|------|-----|
| 二世帯世帯 | 141 | 15.6 | 33.3 | 30.5 | 16.3 | 0.0 | 22.0 | 58.2 | 1.4 | 0.0 | 0.7 | 6.4 | 1.4 |
| 三世帯世帯 | 26 | 26.9 | 23.1 | 11.5 | 19.2 | 3.8 | 42.3 | 69.2 | 0.0 | 0.0 | 11.5 | 19.2 | 0.0 |
| ひとり親家庭 | 31 | 38.7 | 38.7 | 12.9 | 12.9 | 0.0 | 19.4 | 38.7 | 0.0 | 0.0 | 3.2 | 6.5 | 6.5 |

※小学5年生向けには、漢字のひらがな表記への書き換えや、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」→「きょうだいの世話や保育所等への送りむかえ」
- ・「身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)」→「入浴やトイレのお世話など」
- ・「通院の付き添い」→「病院への付きそい」
- ・「感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)」→「ぐちを聞く、話し相手になるなど」
- ・「金銭管理」→「お金の管理」

③ 家族構成×世話を一緒にしている人

ひとり親家庭では、世話をする人が「自分のみ」の割合が他の家族構成と比べ高くなっている。三世代世帯では、「福祉サービス（ヘルパーなど）を利用」の割合が他に比べ高くなっている。

図表－53 家族構成×世話を一緒にしている人(複数回答)

(%)

| | 調査数 (n) | 母親 | 父親 | 祖母 | 祖父 | きょうだい | 親せき | 自分のみ | 福祉サービス(ヘルパーなど)を利用 | その他 | 無回答 |
|--------|------------|------|------|------|------|-------|-----|------|-------------------|-----|------|
| 二世代世帯 | 151 | 61.6 | 52.3 | 7.9 | 5.3 | 36.4 | 1.3 | 7.9 | 0.7 | 1.3 | 22.5 |
| 三世代世帯 | 27 | 63.0 | 55.6 | 29.6 | 11.1 | 40.7 | 3.7 | 7.4 | 14.8 | 3.7 | 18.5 |
| ひとり親家庭 | 33 | 57.6 | 6.1 | 6.1 | 0.0 | 15.2 | 0.0 | 12.1 | 3.0 | 3.0 | 21.2 |

④ 家族構成×世話をしている頻度

三世代世帯の場合、他の家族構成と比べて「ほぼ毎日」の割合が低くなっている。

図表－54 家族構成×世話をしている頻度

(%)

| | 調査数 (n) | ほぼ毎日 | 週に3～5日 | 週に1～2日 | 1か月に数日 | その他 | 無回答 |
|--------|------------|------|--------|--------|--------|-----|------|
| 二世代世帯 | 151 | 60.3 | 18.5 | 9.3 | 4.0 | 1.3 | 6.6 |
| 三世代世帯 | 27 | 48.1 | 18.5 | 14.8 | 0.0 | 7.4 | 11.1 |
| ひとり親家庭 | 33 | 54.5 | 15.2 | 9.1 | 12.1 | 3.0 | 6.1 |

⑤ 家族構成×平日1日あたりの世話に費やす時間

世話に費やす時間については、二世帯世帯では平均 2.1 時間、三世帯世帯では平均 3.6 時間、ひとり親家庭では平均 2.4 時間となっている。(※ 1 時間未満、11 時間以上と回答したものは、それぞれ、1 時間、11 時間として平均値を算出。)

三世帯世帯では、「7 時間以上」の割合が他の家族構成と比べ高くなっている。

図表－55 家族構成×世話に費やす時間(平日1日あたり)

(%)

| | 調査数 (n) | 3 時間 未満 | 3 ～ 7 時間 未満 | 7 時間 以上 | 無 回 答 |
|--------|------------|---------------|-------------------------|---------------|-------------|
| 二世帯世帯 | 151 | 64.2 | 21.9 | 2.6 | 11.3 |
| 三世帯世帯 | 27 | 55.6 | 11.1 | 22.2 | 11.1 |
| ひとり親家庭 | 33 | 63.6 | 12.1 | 6.1 | 18.2 |

⑥ 家族構成×世話をしているために、やりたいけれどできていないこと

ひとり親家庭では、世話による制約として、小学5年生、中学2年生とも「友人（友達）と遊ぶことができない」の割合が他の家族構成に比べてやや高く、中学2年生では加えて、「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」、「部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった」の割合が高くなっている。

図表－56 家族構成×世話をしているために、やりたいけれどできていないこと(複数回答)

<小学5年生>

(%)

| | 調査数(nⅡ) | 学校に行きたくても行けない | どうしても学校を遅刻・早退してしまう | 宿題をする時間や勉強する時間が取れない | ねる時間が十分に取れない | 友達と遊ぶことができない | 課外活動、じゅく・習い事ができない、またはやめなければならなかった | 自分の時間が取れない | 特にない | その他 | 無回答 |
|--------|---------|---------------|--------------------|---------------------|--------------|--------------|-----------------------------------|------------|------|-----|------|
| 二世帯世帯 | 114 | 0.9 | 4.4 | 4.4 | 4.4 | 3.5 | 0.0 | 14.9 | 71.1 | 1.8 | 7.9 |
| 三世帯世帯 | 15 | 0.0 | 0.0 | 13.3 | 6.7 | 6.7 | 0.0 | 6.7 | 80.0 | 0.0 | 6.7 |
| ひとり親家庭 | 19 | 0.0 | 5.3 | 0.0 | 0.0 | 10.5 | 0.0 | 5.3 | 68.4 | 0.0 | 10.5 |

<中学2年生、高校2年生>

(%)

| | 調査数(nⅡ) | 学校に行きたくても行けない | どうしても学校を遅刻・早退してしまう | 宿題をする時間や勉強する時間が取れない | 睡眠が十分に取れない | 友人と遊ぶことができない | 部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった | 進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した | 自分の時間が取れない | 特にない | その他 | 無回答 |
|--------|---------|---------------|--------------------|---------------------|------------|--------------|----------------------------|----------------------------|------------|------|-----|-----|
| 二世帯世帯 | 37 | 0.0 | 2.7 | 10.8 | 13.5 | 13.5 | 2.7 | 0.0 | 21.6 | 67.6 | 5.4 | 5.4 |
| 三世帯世帯 | 12 | 0.0 | 0.0 | 8.3 | 8.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 16.7 | 75.0 | 0.0 | 8.3 |
| ひとり親家庭 | 14 | 0.0 | 0.0 | 21.4 | 14.3 | 21.4 | 14.3 | 0.0 | 21.4 | 64.3 | 0.0 | 0.0 |

⑦ 家族構成×世話をすることを感じている大変さ

世話をすることを感じている大変さについては、家族構成による大きな差はみられない。

図表－57 世話をすることを感じている大変さ(複数回答)

(%)

| | 調査数(n=) | 身体的に大変である | 精神的に大変である | 時間的余裕がない | 特に大変さは感じていない | 無回答 |
|--------|---------|-----------|-----------|----------|--------------|-----|
| 二世世代世帯 | 151 | 11.3 | 14.6 | 10.6 | 67.5 | 6.6 |
| 三世世代世帯 | 27 | 11.1 | 11.1 | 11.1 | 66.7 | 7.4 |
| ひとり親家庭 | 33 | 9.1 | 12.1 | 9.1 | 75.8 | 6.1 |

※小学5年生向けには、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「身体的に大変である」→「体がつかれて大変」
- ・「精神的に大変である」→「心がつかれて大変」
- ・「時間的余裕がない」→「時間によゆうがなくて大変」

⑧ 家族構成×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援

学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援については、ひとり親家庭では、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」の割合が、他の家族構成に比べ高くなっている。

図表－58 家族構成×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援(複数回答)

(%)

| | 調査数(n=) | 自分の今の状況について話を聞いてほしい | 家族のお世話について相談ののってほしい | 家族の病気や障害、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい | 自分がしているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい | 自由に使える時間がほしい | 自分がしているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい | 進路や就職など将来の相談ののってほしい | 学校の勉強や受験勉強など学習のサポート | 家庭への経済的な支援 | わからない | 特になし | その他 | 無回答 |
|--------|---------|---------------------|---------------------|-----------------------------------|----------------------------------|--------------|---------------------------------|---------------------|---------------------|------------|-------|------|-----|-----|
| 二世世代世帯 | 151 | 4.0 | 2.6 | 0.7 | 0.7 | 8.6 | 6.0 | 9.3 | 4.0 | 9.9 | 70.2 | 0.7 | 2.6 | |
| 三世世代世帯 | 27 | 11.1 | 0.0 | 3.7 | 0.0 | 3.7 | 3.7 | 7.4 | 3.7 | 14.8 | 66.7 | 0.0 | 3.7 | |
| ひとり親家庭 | 33 | 9.1 | 0.0 | 0.0 | 3.0 | 6.1 | 9.1 | 3.0 | 18.2 | 3.0 | 12.1 | 60.6 | 3.0 | 0.0 |

※小学5年生向けには、漢字のひらがな表記への書き換えや、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「家族の病気や障害、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい」→「家族の病気やしょうがい、お世話のしかたなどについてわかりやすく説明してほしい」
- ・「進路や就職など将来の相談ののってほしい」→「将来のことについて相談ののってほしい」
- ・「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」→「学校の勉強のサポートをしてほしい」
- ・「家庭への経済的な支援」→「家庭へのお金についてのサポートをしてほしい」

(4) 平日1日あたりの世話に費やす時間による生活状況等

① 平日1日あたりの世話に費やす時間×健康状態

世話に費やす時間が1日3時間以上の場合、3時間未満に比べ、健康状態が「よくない・あまりよくない」の割合が高くなっている。

図表-59 平日1日あたりの世話に費やす時間×健康状態

(%)

| | 調査数 (n) | よい・まあよい | ふつう | よくない・あまりよくない | 無回答 |
|---------|------------|---------|------|--------------|-----|
| 3時間未満 | 137 | 85.4 | 10.9 | 2.9 | 0.7 |
| 3～7時間未満 | 43 | 69.8 | 23.3 | 7.0 | 0.0 |
| 7時間以上 | 12 | 83.3 | 8.3 | 8.3 | 0.0 |

② 平日1日あたりの世話に費やす時間×出席状況

世話に費やす時間が長いほど、「ほとんど欠席しない」の割合が低くなっており、世話に費やす時間が1日3時間以上の場合、3時間未満に比べ、「たまに欠席する」、「よく欠席する」の割合が高くなっている。

図表-60 平日1日あたりの世話に費やす時間×出席状況

(%)

| | 調査数 (n) | ほとんど欠席しない | たまに欠席する | よく欠席する | 無回答 |
|---------|------------|-----------|---------|--------|-----|
| 3時間未満 | 137 | 89.1 | 8.0 | 2.2 | 0.7 |
| 3～7時間未満 | 43 | 72.1 | 16.3 | 11.6 | 0.0 |
| 7時間以上 | 12 | 58.3 | 33.3 | 8.3 | 0.0 |

③ 平日1日あたりの世話に費やす時間×遅刻や早退の状況

世話に費やす時間が1日3～7時間未満の場合、「たまにする」、「よくする」の割合が高くなっている。

図表-61 平日1日あたりの世話に費やす時間×遅刻や早退の状況

(%)

| | 調査数(n=) | ほとんどしない | たまにする | よくする | 無回答 |
|---------|---------|---------|-------|------|-----|
| 3時間未満 | 137 | 85.4 | 5.1 | 4.4 | 5.1 |
| 3～7時間未満 | 43 | 62.8 | 18.6 | 11.6 | 7.0 |
| 7時間以上 | 12 | 83.3 | 16.7 | 0.0 | 0.0 |

④ 平日1日あたりの世話に費やす時間×ふだんの学校生活等であてはまること

学校生活等であてはまることについて、世話に費やす時間が1日3時間以上の場合、3時間未満に比べ、「宿題や課題ができていないことが多い」の割合が高くなっている。また、1日7時間以上の場合、7時間未満に比べ、「部活動や習い事を休むことが多い」、「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」の割合が高くなっている。

図表-62 平日1日あたりの世話に費やす時間×ふだんの学校生活等であてはまること(複数回答)

(%)

| | 調査数(n=) | 授業中に居眠りすることが多い | 宿題や課題ができていないことが多い | 持ち物の忘れ物が多い | 部活動や習い事を休むことが多い | 提出しなければならない書類などの提出が遅れることが多い | 修学旅行などの宿泊行事を欠席する | 保健室で過ごすことが多い | 学校では一人で過ごすことが多い | 友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない | あてはまるものはない | 無回答 |
|---------|---------|----------------|-------------------|------------|-----------------|-----------------------------|------------------|--------------|-----------------|--------------------------|------------|-----|
| 3時間未満 | 137 | 8.0 | 7.3 | 19.7 | 2.2 | 16.8 | 1.5 | 0.0 | 3.6 | 3.6 | 60.6 | 0.7 |
| 3～7時間未満 | 43 | 20.9 | 27.9 | 20.9 | 9.3 | 18.6 | 0.0 | 7.0 | 11.6 | 9.3 | 53.5 | 0.0 |
| 7時間以上 | 12 | 8.3 | 25.0 | 25.0 | 33.3 | 8.3 | 8.3 | 8.3 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |

※小学5年生向けには、漢字のひらがな表記への書き換えや、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「宿題や課題ができていないことが多い」→「宿題ができていないことが多い」
- ・「持ち物の忘れ物が多い」→「わすれ物が多い」
- ・「部活動や習い事を休むことが多い」→「課外活動、じゅく・習い事を休むことが多い」
- ・「提出しなければならない書類などの提出が遅れることが多い」→「先生に出す提出物が遅くなるが多い」
- ・「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」→「野外活動などの宿泊行事を欠席する」
- ・「友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」→「友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」

⑤ 平日1日あたりの世話に費やす時間×現在の悩みや困りごと

世話に費やす時間が1日3時間以上の場合、3時間未満に比べて、多くの項目で割合が高くなっている。

図表－63 平日1日あたりの世話に費やす時間×現在の悩みや困りごと(複数回答)

<小学5年生>

(%)

| | 調査数(nⅡ) | 友達との関係のこと | 勉強や成績のこと | 将来のこと | お金のこと | 課外活動、じゅく・習い事ができないこと | 自分と家族との関係のこと | 家族内の人間関係のこと(両親の仲がよくないなど) | 病気やしょうがいのある家族のこと | 自分のために使える時間が少ないこと | 特にない | その他 | 無回答 |
|---------|---------|-----------|----------|-------|-------|---------------------|--------------|--------------------------|------------------|-------------------|------|-----|-----|
| 3時間未満 | 98 | 16.3 | 16.3 | 12.2 | 5.1 | 1.0 | 5.1 | 3.1 | 4.1 | 7.1 | 65.3 | 2.0 | 0.0 |
| 3～7時間未満 | 33 | 33.3 | 27.3 | 21.2 | 9.1 | 3.0 | 0.0 | 6.1 | 6.1 | 6.1 | 48.5 | 0.0 | 0.0 |
| 7時間以上 | | | | | | | | | | | | | |

※「7時間以上」の件数が少ないため、「3～7時間未満」と合計して集計した。

<中学2年生、高校2年生>

(%)

| | 調査数(nⅡ) | 友人との関係のこと | 学業成績のこと | 進路のこと | 部活動のこと | 学費(教材費、部費)など学校生活に必要なお金のこと | 塾(通信講座含む)や習い事ができないこと | 家庭の経済的状況のこと | 自分と家族との関係のこと | 家族内の人間関係のこと(両親の仲が良くないなど) | 病気や障害のある家族のこと | 自分のために使える時間が少ないこと | 特にない | その他 | 無回答 |
|---------|---------|-----------|---------|-------|--------|---------------------------|----------------------|-------------|--------------|--------------------------|---------------|-------------------|------|-----|-----|
| 3時間未満 | 39 | 7.7 | 30.8 | 35.9 | 17.9 | 5.1 | 5.1 | 15.4 | 7.7 | 7.7 | 7.7 | 7.7 | 48.7 | 2.6 | 0.0 |
| 3～7時間未満 | 22 | 31.8 | 72.7 | 54.5 | 36.4 | 13.6 | 4.5 | 22.7 | 36.4 | 18.2 | 18.2 | 36.4 | 4.5 | 9.1 | 0.0 |
| 7時間以上 | | | | | | | | | | | | | | | |

※「7時間以上」の件数が少ないため、「3～7時間未満」と合計して集計した。

⑥ 平日1日あたりの世話に費やす時間×世話をすることを感じている大変さ
世話に費やす時間が長いほど、「精神的に大変である」の割合が高くなっている。

図表－64 平日1日あたりの世話に費やす時間×世話をすることを感じている大変さ(複数回答)
(%)

| | 調査数 (n) | 身体的に 大変である | 精神的に 大変である | 時間的 余裕がない | 特に 大変さは 感じて いない | 無 回答 |
|---------|------------|---------------|---------------|--------------|--------------------------|---------|
| 3時間未満 | 137 | 10.9 | 12.4 | 3.6 | 78.8 | 0.7 |
| 3～7時間未満 | 43 | 14.0 | 20.9 | 32.6 | 55.8 | 0.0 |
| 7時間以上 | 12 | 8.3 | 25.0 | 16.7 | 75.0 | 0.0 |

※小学5年生向けには、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「身体的に大変である」→「体がつかれて大変」
- ・「精神的に大変である」→「心がつかれて大変」
- ・「時間的余裕がない」→「時間によゆうがなくて大変」

⑦ 平日1日あたりの世話に費やす時間×世話について相談した経験

世話に費やす時間が1日3～7時間未満の場合、他と比べて、世話について相談した経験が「ある」の割合が高くなっている。

図表－65 平日1日あたりの世話に費やす時間×世話について相談した経験
(%)

| | 調査数 (n) | ある | ない | 無 回答 |
|---------|------------|------|------|---------|
| 3時間未満 | 137 | 24.8 | 74.5 | 0.7 |
| 3～7時間未満 | 43 | 34.9 | 65.1 | 0.0 |
| 7時間以上 | 12 | 16.7 | 83.3 | 0.0 |

⑧ 平日1日あたりの世話に費やす時間×世話について相談したことがない理由

世話に費やす時間が1日3時間以上の場合、3時間未満に比べて、「誰かに相談するほどの悩みではない」の割合が低く、それ以外の多くの項目で割合が高くなっている。特に中学2年生と高校2年生では、「家族のこのため話しにくい」、「家族に対して偏見を持たれたくない」、「相談しても状況が変わるとは思わない」の割合が、それぞれ3割を超えている。

図表-66 平日1日あたりの世話に費やす時間×世話について相談したことがない理由(複数回答)

<小学5年生>

(%)

| | 調査数(n) | 誰かに相談するほどの悩みではない | 誰に相談するのがよいかわからない | 相談できる人が身近にいない | 家族のことを知られたくない | 家族や自分のことを変な目で見られたくない | 相談しても今よりよくなるとは思わない | その他 | 無回答 |
|---------|--------|------------------|------------------|---------------|---------------|----------------------|--------------------|------|-----|
| 3時間未満 | 77 | 84.4 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 3.9 | 13.0 | 0.0 |
| 3~7時間未満 | 22 | 77.3 | 4.5 | 4.5 | 13.6 | 9.1 | 9.1 | 9.1 | 0.0 |
| 7時間以上 | | | | | | | | | |

※「7時間以上」の件数が少ないため、「3~7時間未満」と合計して集計した。

<中学2年生、高校2年生>

(%)

| | 調査数(n) | 誰かに相談するほどの悩みではない | 家族以外の人に相談するほどの悩みではない | 誰に相談するのがよいかわからない | 相談できる人が身近にいない | 家族のこのため話しにくい | 家族のことを知られたくない | 家族に対して偏見を持たれたくない | 相談しても状況が変わるとは思わない | その他 | 無回答 |
|---------|--------|------------------|----------------------|------------------|---------------|--------------|---------------|------------------|-------------------|------|-----|
| 3時間未満 | 25 | 80.0 | 8.0 | 0.0 | 4.0 | 8.0 | 0.0 | 4.0 | 4.0 | 8.0 | 4.0 |
| 3~7時間未満 | 16 | 43.8 | 12.5 | 12.5 | 6.3 | 37.5 | 12.5 | 31.3 | 31.3 | 12.5 | 0.0 |
| 7時間以上 | | | | | | | | | | | |

※「7時間以上」の件数が少ないため、「3~7時間未満」と合計して集計した。

(5) 世話を必要としている家族による世話の状況等

① 世話を必要としている家族×(回答者の)性別

世話を必要としている家族については、回答者の性別による大きな差はみられず、全体として「女性」が高くなっている。

図表-67 世話を必要としている家族×(回答者の)性別

(%)

| | 調査数 (n=) | 男性 | 女性 | その他 | 無回答 |
|-------|-------------|------|------|-----|-----|
| 父母 | 21 | 42.9 | 52.4 | 4.8 | 0.0 |
| 祖父母 | 12 | 33.3 | 66.7 | 0.0 | 0.0 |
| きょうだい | 171 | 39.2 | 59.1 | 1.8 | 0.0 |
| その他 | 8 | 37.5 | 62.5 | 0.0 | 0.0 |

② 世話を必要としている家族×世話を一緒にする人

世話を必要としている家族が父母の場合、「自分のみ」の割合が他に比べ高くなっている。一方、世話を必要としている家族が祖父母の場合、「母親」、「父親」、「きょうだい」、「福祉サービス(ヘルパーなど)を利用」などの割合が他に比べ高くなっている。

図表-68 世話を必要としている家族×世話を一緒にしている人(複数回答)

(%)

| | 調査数 (n=) | 母親 | 父親 | 祖母 | 祖父 | きょうだい | 親せき | 自分のみ | 福祉サービス(ヘルパーなど)を利用 | その他 | 無回答 |
|-------|-------------|------|------|------|-----|-------|-----|------|-------------------|-----|------|
| 父母 | 21 | 19.0 | 28.6 | 9.5 | 4.8 | 23.8 | 4.8 | 28.6 | 0.0 | 0.0 | 23.8 |
| 祖父母 | 12 | 83.3 | 66.7 | 25.0 | 8.3 | 41.7 | 8.3 | 8.3 | 33.3 | 0.0 | 0.0 |
| きょうだい | 171 | 65.5 | 45.6 | 12.9 | 7.6 | 34.5 | 1.8 | 7.6 | 2.3 | 1.8 | 18.7 |

③ 世話を必要としている家族×世話を始めた年齢

世話を必要としている家族が、父母の場合、他に比べ、「小学生（低学年）」の割合が高くなっており、世話を必要としている家族が、祖父母の場合、「小学生（高学年）」の割合が高くなっている。また、きょうだいの世話を始めたのは「小学生（高学年）」の割合が最も高い。

図表－69 世話を必要としている家族×世話を始めた年齢

(%)

| | 調査数 (n//) | 就学前 | 小学生 (低学年) | 小学生 (高学年) | 中学生 以降 | 無回答 |
|-------|--------------|------|--------------|--------------|-----------|-----|
| 父母 | 21 | 4.8 | 42.9 | 33.3 | 14.3 | 4.8 |
| 祖父母 | 12 | 0.0 | 16.7 | 83.3 | 0.0 | 0.0 |
| きょうだい | 171 | 10.5 | 33.3 | 42.7 | 7.6 | 5.8 |

④ 世話を必要としている家族×世話をしている頻度

世話を必要としている家族が、祖父母、きょうだいの場合、父母の場合と比べ「ほぼ毎日」の割合が高くなっている。

図表－70 世話を必要としている家族×世話をしている頻度

(%)

| | 調査数 (n//) | ほぼ毎日 | 週に3 ～5日 | 週に1 ～2日 | 1か月に 数日 | その他 | 無回答 |
|-------|--------------|------|------------|------------|------------|-----|-----|
| 父母 | 21 | 33.3 | 23.8 | 14.3 | 19.0 | 4.8 | 4.8 |
| 祖父母 | 12 | 66.7 | 16.7 | 8.3 | 0.0 | 8.3 | 0.0 |
| きょうだい | 171 | 60.2 | 20.5 | 9.4 | 4.7 | 1.8 | 3.5 |

⑤ 世話を必要としている家族×平日1日あたりの世話に費やす時間

世話に費やす時間については、世話を必要としている家族が父母の場合、平均 2.3 時間、祖父母の場合では平均 2.4 時間、きょうだいの場合では平均 2.3 時間となっている。世話を必要としている家族がきょうだいの場合、「3 時間未満」が最も高く、祖父母の場合は、「7 時間以上」の割合が他に比べ高くなっている。

図表－71 世話を必要としている家族×平日1日あたりの世話に費やす時間 (%)

| | 調査数 (n II) | 3 時間 未満 | 3 ～ 7 時間 未満 | 7 時間 以上 | 無 回 答 |
|-------|---------------|---------------|-------------------------|---------------|-------------|
| 父母 | 21 | 61.9 | 23.8 | 4.8 | 9.5 |
| 祖父母 | 12 | 58.3 | 25.0 | 16.7 | 0.0 |
| きょうだい | 171 | 65.5 | 21.1 | 5.3 | 8.2 |

⑥ 世話を必要としている家族×世話をすることを感じている大変さ

世話を必要としている家族がきょうだいの場合、「特に大変さは感じていない」が他に比べ高くなっている。また、世話を必要としている家族が父母の場合、「身体的に大変である」、「精神的に大変である」の割合が他に比べ高くなっている。

図表－72 世話を必要としている家族×世話をすることを感じている大変さ(複数回答) (%)

| | 調査数 (n II) | 身 体 的 に 大 変 で あ る | 精 神 的 に 大 変 で あ る | 時 間 的 余 裕 が な い | 特 に 大 変 さ は 感 じ て い な い | 無 回 答 |
|-------|---------------|---|---|--------------------------------------|--|-------------|
| 父母 | 21 | 23.8 | 33.3 | 14.3 | 52.4 | 4.8 |
| 祖父母 | 12 | 8.3 | 25.0 | 25.0 | 58.3 | 0.0 |
| きょうだい | 171 | 11.1 | 13.5 | 10.5 | 71.9 | 2.3 |

※小学5年生向けには、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「身体的に大変である」→「体がつかれて大変」
- ・「精神的に大変である」→「心がつかれて大変」
- ・「時間的余裕がない」→「時間によゆうがなくて大変」

⑦ 世話を必要としている家族×世話について相談した経験

世話を必要としている家族が祖父母の場合、世話について相談した経験が「ある」の回答が、他の場合よりも高くなっている。

図表－73 世話を必要としている家族×世話について相談した経験

(%)

| | 調査数 (n=) | ある | ない | 無回答 |
|-------|-------------|------|------|-----|
| 父母 | 21 | 28.6 | 71.4 | 0.0 |
| 祖父母 | 12 | 41.7 | 58.3 | 0.0 |
| きょうだい | 171 | 26.9 | 71.3 | 1.8 |

(6) 世話をすることを感じている大変さによる世話の状況の違い

① 世話をすることを感じている大変さ×世話を必要としている家族の状況

全体として、「幼い・自分より小さい子ども」の割合が高いが、それ以外では、小学5年生で、世話を必要としている家族の状況が「身体にしょうがいがある」という場合に「体がつかれて大変」「時間によゆうがなくて大変」の割合が高くなっている。中学2年生、高校2年生では、「認知症」、「精神疾患（疑い含む）」の場合に「精神的に大変である」の割合が高くなっている。

図表-74 世話をすることを感じている大変さ×世話を必要としている家族の状況(複数回答)

<小学5年生>

(%)

| | 調査数(n=) | お年寄り(65歳以上) | 自分より小さい子ども | 介護が必要 | 身体にしょうがいがある | 病気 | その他 | 無回答 |
|--------------|---------|-------------|------------|-------|-------------|-----|------|-----|
| 体がつかれて大変 | 23 | 8.7 | 60.9 | 8.7 | 13.0 | 4.3 | 17.4 | 4.3 |
| 心がつかれて大変 | 17 | 0.0 | 64.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 35.3 | 0.0 |
| 時間によゆうがなくて大変 | 17 | 5.9 | 82.4 | 5.9 | 17.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 特に大変さは感じていない | 103 | 3.9 | 84.5 | 1.9 | 6.8 | 2.9 | 5.8 | 1.9 |

<中学2年生、高校2年生>

(%)

| | 調査数(n=) | 高齢(65歳以上) | 幼い | 要介護(介護が必要な状態) | 認知症 | 身体障害 | 知的障害 | 精神疾患(疑い含む) | 依存症(アルコール依存症、ギャンブル依存症など疑い含む) | 精神疾患、依存症以外の病気 | その他 | 無回答 |
|--------------|---------|-----------|------|---------------|------|------|------|------------|------------------------------|---------------|------|------|
| 身体的に大変である | 5 | 0.0 | 60.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 40.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 |
| 精神的に大変である | 17 | 23.5 | 41.2 | 11.8 | 17.6 | 11.8 | 5.9 | 17.6 | 11.8 | 5.9 | 0.0 | 0.0 |
| 時間的余裕がない | 8 | 12.5 | 50.0 | 0.0 | 12.5 | 25.0 | 12.5 | 0.0 | 25.0 | 12.5 | 12.5 | 0.0 |
| 特に大変さは感じていない | 48 | 8.3 | 50.0 | 2.1 | 0.0 | 10.4 | 10.4 | 6.3 | 0.0 | 8.3 | 8.3 | 10.4 |

② 世話をすることを感じている大変さ×世話の内容

全体として「見守り」の割合が高いが、それ以外では、「感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）」や「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」をしている場合に、「身体的に大変である」、「精神的に大変である」、「時間的余裕がない」の割合が高くなっている。

図表－75 世話をすることを感じている大変さ×世話の内容(複数回答)

(%)

| | 調査数(n=) | 家事(食事の準備や掃除、洗濯) | きょうだいの世話や保育所等への送迎など | 身体的な介護(入浴やトイレのお世話など) | 外出の付き添い(買い物、散歩など) | 通院の付き添い | 感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど) | 見守り | 通訳(日本語や手話など) | 金銭管理 | 薬の管理 | その他 | 無回答 |
|--------------|---------|-----------------|---------------------|----------------------|-------------------|---------|---------------------------|------|--------------|------|------|------|-----|
| 身体的に大変である | 28 | 28.6 | 21.4 | 21.4 | 25.0 | 0.0 | 32.1 | 50.0 | 3.6 | 3.6 | 10.7 | 3.6 | 3.6 |
| 精神的に大変である | 34 | 26.5 | 17.6 | 20.6 | 14.7 | 2.9 | 38.2 | 61.8 | 0.0 | 0.0 | 2.9 | 11.8 | 0.0 |
| 時間的余裕がない | 25 | 40.0 | 40.0 | 32.0 | 20.0 | 4.0 | 44.0 | 60.0 | 4.0 | 4.0 | 12.0 | 4.0 | 0.0 |
| 特に大変さは感じていない | 151 | 17.9 | 31.8 | 22.5 | 17.2 | 1.3 | 21.2 | 55.6 | 0.7 | 0.0 | 2.6 | 9.3 | 4.6 |

※小学5年生向けには、漢字のひらがな表記への書き換えや、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」→「きょうだいの世話や保育所等への送りむかえ」
- ・「身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)」→「入浴やトイレのお世話など」
- ・「通院の付き添い」→「病院への付きそい」
- ・「感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)」→「ぐちを聞く、話し相手になるなど」
- ・「金銭管理」→「お金の管理」

- ③ 世話をすることを感じている大変さ×世話をしているために、やりたいけれどできていないこと
 世話をしているために、やりたいけれどできていないことについては、「自分の時間が取れない」場合や「睡眠が十分に取れない」場合に、「身体的に大変である」、「精神的に大変である」、「時間的余裕がない」の割合が高くなっている。

図表－76 世話をすることを感じている大変さ×世話をしているために、やりたいけれどできていないこと

<小学5年生>

(%)

| | 調査数(n=) | 学校に行きたくても行けない | どうしても学校を遅刻・早退してしまう | 宿題をする時間や勉強する時間が取れない | ねる時間が十分に取れない | 友達と遊ぶことができない | 課外活動、じゅく・習い事ができない、またはやめなければならなかった | 自分の時間が取れない | 特にない | その他 | 無回答 |
|--------------|---------|---------------|--------------------|---------------------|--------------|--------------|-----------------------------------|------------|------|-----|-----|
| 体がつかれて大変 | 19 | 5.3 | 15.8 | 15.8 | 26.3 | 5.3 | 0.0 | 21.1 | 63.2 | 0.0 | 5.3 |
| 心がつかれて大変 | 15 | 0.0 | 6.7 | 13.3 | 6.7 | 6.7 | 0.0 | 40.0 | 60.0 | 0.0 | 0.0 |
| 時間によゆうがなくて大変 | 15 | 6.7 | 6.7 | 33.3 | 26.7 | 20.0 | 0.0 | 46.7 | 20.0 | 0.0 | 6.7 |
| 特に大変さは感じていない | 103 | 0.0 | 2.9 | 0.0 | 1.0 | 2.9 | 0.0 | 6.8 | 85.4 | 1.9 | 1.0 |

<中学2年生、高校2年生>

(%)

| | 調査数(n=) | 学校に行きたくても行けない | どうしても学校を遅刻・早退してしまう | 宿題をする時間や勉強する時間が取れない | 睡眠が十分に取れない | 友人と遊ぶことができない | 部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった | 進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した | 自分の時間が取れない | 特にない | その他 | 無回答 |
|--------------|---------|---------------|--------------------|---------------------|------------|--------------|----------------------------|----------------------------|------------|------|-----|-----|
| 身体的に大変である | 5 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 40.0 | 40.0 | 20.0 | 0.0 | 60.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 精神的に大変である | 15 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 40.0 | 33.3 | 6.7 | 0.0 | 53.3 | 33.3 | 6.7 | 0.0 |
| 時間的余裕がない | 8 | 0.0 | 12.5 | 62.5 | 62.5 | 50.0 | 12.5 | 0.0 | 87.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 特に大変さは感じていない | 46 | 0.0 | 0.0 | 8.7 | 0.0 | 6.5 | 4.3 | 0.0 | 10.9 | 87.0 | 2.2 | 0.0 |

④ 世話をすることを感じている大変さ×世話に関する相談経験の有無

「身体的に大変である」、「精神的に大変である」、「時間的余裕がない」と回答した場合、「特に大変さは感じていない」場合と比べて、相談したことが「ある」という割合が高くなっている。特に、「時間的余裕がない」と回答した場合、相談したことが「ある」の割合は6割を超えている。

図表－77 世話をすることを感じている大変さ×世話に関する相談経験の有無 (%)

| | 調査数 (n) | ある | ない | 無回答 |
|--------------|------------|------|------|-----|
| 身体的に大変である | 24 | 37.5 | 58.3 | 4.2 |
| 精神的に大変である | 30 | 40.0 | 60.0 | 0.0 |
| 時間的余裕がない | 23 | 60.9 | 39.1 | 0.0 |
| 特に大変さは感じていない | 149 | 18.8 | 81.2 | 0.0 |

※小学5年生向けには、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「身体的に大変である」→「体がつかれて大変」
- ・「精神的に大変である」→「心がつかれて大変」
- ・「時間的余裕がない」→「時間によゆうがなくて大変」

⑤ 世話をすることを感じている大変さ×世話の悩みについて聞いてくれる人の有無

相談した経験が「ない」と回答した場合の、世話の悩みについて聞いてくれる人の有無について、「身体的に大変である」と回答したうちの3割弱、「精神的に大変である」と回答したうちの3割強、「時間的余裕がない」と回答したうちの7割弱が「いない」となっている。

図表－78 世話をすることを感じている大変さ×世話について話を聞いてくれる人の有無 (%)

| | 調査数 (n) | いる | いない | 無回答 |
|--------------|------------|------|------|-----|
| 身体的に大変である | 14 | 71.4 | 28.6 | 0.0 |
| 精神的に大変である | 18 | 66.7 | 33.3 | 0.0 |
| 時間的余裕がない | 9 | 33.3 | 66.7 | 0.0 |
| 特に大変さは感じていない | 121 | 77.7 | 14.9 | 7.4 |

※小学5年生向けには、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「身体的に大変である」→「体がつかれて大変」
- ・「精神的に大変である」→「心がつかれて大変」
- ・「時間的余裕がない」→「時間によゆうがなくて大変」

(7) ヤングケアラーの自己認識による生活状況、世話の状況の違い

① ヤングケアラーの自己認識×健康状態

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」、「わからない」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、健康状態について「よくない・あまりよくない」の割合が高くなっている。

図表-79 ヤングケアラーの自己認識×健康状態

(%)

| | | 調査数 (n) | よい・まあよい | ふつう | よくない・ あまりよくない | 無回答 |
|-----------------|---------|------------|---------|------|------------------|-----|
| ヤングケアラー かどうか | あてはまる | 59 | 84.7 | 11.9 | 3.4 | 0.0 |
| | あてはまらない | 5,980 | 88.2 | 10.1 | 1.6 | 0.1 |
| | わからない | 460 | 72.4 | 19.8 | 7.6 | 0.2 |

② ヤングケアラーの自己認識×出席状況

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」、「わからない」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、「たまに欠席する」、「よく欠席する」の割合が高くなっている。

図表-80 ヤングケアラーの自己認識×出席状況

(%)

| | | 調査数 (n) | いほとんど欠席しな | たまに欠席する | よく欠席する | 無回答 |
|-----------------|---------|------------|-----------|---------|--------|-----|
| ヤングケアラー かどうか | あてはまる | 59 | 81.4 | 13.6 | 5.1 | 0.0 |
| | あてはまらない | 5,980 | 89.3 | 7.1 | 3.4 | 0.2 |
| | わからない | 460 | 78.0 | 13.0 | 8.3 | 0.7 |

③ ヤングケアラーの自己認識×遅刻や早退の状況

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」、「わからない」と回答した場合、「あてはまらない」の場合に比べ、遅刻や早退を「たまにする」、「よくする」の割合が高くなっている。

図表－81 ヤングケアラーの自己認識×遅刻や早退の状況

(%)

| | | 調査数(n) | ほとんどしない | たまにする | よくする | 無回答 |
|-------------|---------|--------|---------|-------|------|-----|
| ヤングケアラーかどうか | あてはまる | 59 | 67.8 | 18.6 | 6.8 | 6.8 |
| | あてはまらない | 5,980 | 85.5 | 5.7 | 2.3 | 6.5 |
| | わからない | 460 | 75.4 | 12.4 | 6.7 | 5.4 |

④ ヤングケアラーの自己認識×ふだんの学校生活等であてはまること

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」、「わからない」と回答した場合、「あてはまらない」の場合に比べ、「授業中に居眠りすることが多い」、「宿題や課題ができていないことが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出しなければならない書類などの提出が遅れることが多い」などの項目で割合が高くなっている。

図表－82 ヤングケアラーの自己認識×ふだんの学校生活等であてはまること(複数回答)

(%)

| | | 調査数(n) | 授業中に居眠りすることが多い | 宿題や課題ができていないことが多い | 持ち物の忘れ物が多い | 部活動や習い事を休むことが多い | 提出しなければならない書類などの提出が遅れることが多い | 修学旅行などの宿泊行事を欠席する | 保健室で過ごすことが多い | 学校では一人で過ごすことが多い | 友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない | あてはまるものはない | 無回答 |
|-------------|---------|--------|----------------|-------------------|------------|-----------------|-----------------------------|------------------|--------------|-----------------|--------------------------|------------|-----|
| ヤングケアラーかどうか | あてはまる | 59 | 18.6 | 15.3 | 23.7 | 10.2 | 16.9 | 3.4 | 3.4 | 6.8 | 5.1 | 45.8 | 3.4 |
| | あてはまらない | 5,980 | 5.7 | 7.3 | 13.7 | 2.8 | 9.9 | 0.8 | 1.0 | 4.8 | 4.2 | 69.6 | 1.7 |
| | わからない | 460 | 14.6 | 18.0 | 26.7 | 8.9 | 22.4 | 2.0 | 2.6 | 6.7 | 7.4 | 50.9 | 0.4 |

※小学5年生向けには、漢字のひらがな表記への書き換えや、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「宿題や課題ができていないことが多い」→「宿題ができていないことが多い」
- ・「持ち物の忘れ物が多い」→「わすれ物が多い」
- ・「部活動や習い事を休むことが多い」→「課外活動、じゅく・習い事を休むことが多い」
- ・「提出しなければならない書類などの提出が遅れることが多い」→「先生に出す提出物が遅くなるが多い」
- ・「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」→「野外活動などの宿泊行事を欠席する」
- ・「友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」→「友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」

⑤ ヤングケアラーの自己認識×現在の悩みや困りごと

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」、「わからない」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、全体的に割合が高くなっている。特に、小学5年生では「勉強や成績のこと」、「友達との関係のこと」などの割合が高く、中学2年生、高校2年生では「学業成績のこと」、「進路のこと」、「友人との関係のこと」などの割合が高くなっている。

中学2年生、高校2年生では、「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」、「わからない」と回答した場合に比べ、「自分と家族との関係のこと」、「家庭の経済的状況のこと」、「自分のために使える時間が少ないこと」、「家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）」、「病気や障害のある家族のこと」などの割合が高くなっている。

図表-83 ヤングケアラーの自己認識×現在の悩みや困りごと(複数回答)

<小学5年生>

(%)

| | | 調査数(n=) | 友達との関係のこと | 勉強や成績のこと | 将来のこと | お金のこと | 課外活動、じゆく習い事ができないこと | 自分と家族との関係のこと | 家族内の人間関係のこと (両親の仲が良くないなど) | 病気やしょうがいのある家族のこと | 自分のために使える時間が少ないこと | 特にない | その他 | 無回答 |
|---------------------|---------|---------|-----------|----------|-------|-------|--------------------|--------------|------------------------------|------------------|-------------------|------|-----|-----|
| ヤング ケアラー かどうか | あてはまる | 33 | 15.2 | 24.2 | 12.1 | 6.1 | 3.0 | 6.1 | 3.0 | 9.1 | 9.1 | 60.6 | 3.0 | 0.0 |
| | あてはまらない | 3,132 | 8.1 | 8.8 | 6.9 | 2.7 | 0.6 | 1.4 | 1.6 | 0.5 | 1.2 | 79.6 | 1.5 | 0.2 |
| | わからない | 227 | 20.3 | 20.3 | 15.0 | 7.9 | 2.6 | 5.7 | 7.0 | 1.3 | 4.0 | 57.3 | 6.2 | 0.4 |

<中学2年生、高校2年生>

(%)

| | | 調査数(n=) | 友人との関係のこと | 学業成績のこと | 進路のこと | 部活動のこと | 学費(教材費、部費)など学校生活に必要なお金のこと | 塾(通信講座含む)や習い事ができないこと | 家庭の経済的状況のこと | 自分と家族との関係のこと | 家族内の人間関係のこと (両親の仲が良くないなど) | 病気や障害のある家族のこと | 自分のために使える時間が少ないこと | 特にない | その他 | 無回答 |
|---------------------|---------|---------|-----------|---------|-------|--------|---------------------------|----------------------|-------------|--------------|------------------------------|---------------|-------------------|------|------|-----|
| ヤング ケアラー かどうか | あてはまる | 26 | 19.2 | 42.3 | 30.8 | 15.4 | 7.7 | 7.7 | 19.2 | 23.1 | 15.4 | 15.4 | 19.2 | 42.3 | 11.5 | 3.8 |
| | あてはまらない | 2,848 | 9.7 | 24.2 | 25.9 | 10.7 | 1.3 | 1.0 | 2.0 | 2.5 | 2.2 | 0.3 | 2.1 | 60.2 | 2.0 | 0.1 |
| | わからない | 233 | 20.2 | 35.6 | 41.2 | 20.2 | 3.4 | 1.7 | 6.4 | 12.0 | 4.3 | 3.9 | 8.2 | 42.1 | 5.2 | 0.0 |

⑥ ヤングケアラーの自己認識×世話を一緒にしている人

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」、「わからない」と回答した場合は、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、「自分のみ」の割合が高くなっている。

図表－84 ヤングケアラーの自己認識×世話を一緒にしている人(複数回答)

(%)

| | | 調査数 (n=) | 母親 | 父親 | 祖母 | 祖父 | きょうだい | 親せき | 自分のみ | 福祉サービス(ヘルパーなど)を利用 | その他 | 無回答 |
|---------------------|---------|-------------|------|------|------|-----|-------|-----|------|-------------------|-----|------|
| ヤング ケアラー かどうか | あてはまる | 19 | 31.6 | 36.8 | 5.3 | 5.3 | 52.6 | 0.0 | 10.5 | 5.3 | 5.3 | 15.8 |
| | あてはまらない | 133 | 64.7 | 49.6 | 12.0 | 6.0 | 32.3 | 0.8 | 6.0 | 3.8 | 0.8 | 24.1 |
| | わからない | 58 | 62.1 | 37.9 | 12.1 | 8.6 | 27.6 | 5.2 | 13.8 | 5.2 | 3.4 | 13.8 |

⑦ ヤングケアラーの自己認識×世話をしている頻度

ヤングケアラーかどうかに対して「わからない」と回答した場合は、他と比べ、世話の頻度について「ほぼ毎日」の割合が高くなっている。

図表－85 ヤングケアラーの自己認識×世話をしている頻度

(%)

| | | 調査数 (n=) | ほぼ毎日 | 週に3～5日 | 週に1～2日 | 1か月に数日 | その他 | 無回答 |
|-----------------|---------|-------------|------|--------|--------|--------|-----|------|
| ヤングケアラー かどうか | あてはまる | 19 | 52.6 | 26.3 | 0.0 | 5.3 | 5.3 | 10.5 |
| | あてはまらない | 133 | 56.4 | 16.5 | 12.0 | 7.5 | 2.3 | 5.3 |
| | わからない | 58 | 65.5 | 19.0 | 6.9 | 1.7 | 1.7 | 5.2 |

⑧ ヤングケアラーの自己認識×平日1日あたりの世話に費やす時間

世話に費やす時間については、ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合は、平均 3.4 時間、「あてはまらない」と回答した場合は平均 1.9 時間、「わからない」と回答した場合は平均 2.8 時間となっている。ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」、「わからない」と回答した場合は、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、3 時間以上の割合が高くなっている。

図表-86 ヤングケアラーの自己認識×平日1日あたりの世話に費やす時間

(%)

| | | 調査数 (n) | 3時間未満 | 3～7時間未満 | 7時間以上 | 無回答 |
|-----------------|---------|------------|-------|---------|-------|------|
| ヤングケアラー かどうか | あてはまる | 19 | 42.1 | 26.3 | 10.5 | 21.1 |
| | あてはまらない | 133 | 73.7 | 15.8 | 3.0 | 7.5 |
| | わからない | 58 | 46.6 | 27.6 | 10.3 | 15.5 |

⑨ ヤングケアラーの自己認識×世話をしているために、やりたいけれどできていないこと

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」、「わからない」と回答した場合は、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、小学5年生では、「自分の時間が取れない」、「ねる時間が十分に取れない」、「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」などの割合が高くなっている。中学2年生、高校2年生では、「自分の時間が取れない」、「睡眠が十分に取れない」、「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」、「友人と遊ぶことができない」などの割合が高くなっている。

図表－87 ヤングケアラーの自己認識×世話をしているために、やりたいけれどできていないこと(複数回答)

<小学5年生>

(%)

| | | 調査数(n) | 学校に行きたくても行けない | どうしても学校を遅刻・早退してしまう | 宿題をする時間や勉強する時間が取れない | ねる時間が十分に取れない | 友達と遊ぶことができない | 課外活動、じゆく、習い事ができない、またはやめなければならなかった | 自分の時間が取れない | 特にない | その他 | 無回答 |
|---------------------|---------|--------|---------------|--------------------|---------------------|--------------|--------------|-----------------------------------|------------|------|-----|-----|
| ヤング ケアラー かどうか | あてはまる | 10 | 10.0 | 10.0 | 20.0 | 30.0 | 0.0 | 0.0 | 40.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 |
| | あてはまらない | 101 | 0.0 | 1.0 | 1.0 | 2.0 | 4.0 | 0.0 | 7.9 | 80.2 | 0.0 | 6.9 |
| | わからない | 34 | 0.0 | 11.8 | 8.8 | 5.9 | 5.9 | 0.0 | 14.7 | 61.8 | 5.9 | 8.8 |

<中学2年生、高校2年生>

(%)

| | | 調査数(n) | 学校に行きたくても行けない | どうしても学校を遅刻・早退してしまう | 宿題をする時間や勉強する時間が取れない | 睡眠が十分に取れない | 友人と遊ぶことができない | 部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった | 進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した | 自分の時間が取れない | 特にない | その他 | 無回答 |
|---------------------|---------|--------|---------------|--------------------|---------------------|------------|--------------|----------------------------|----------------------------|------------|------|------|------|
| ヤング ケアラー かどうか | あてはまる | 9 | 0.0 | 11.1 | 33.3 | 33.3 | 22.2 | 22.2 | 0.0 | 44.4 | 22.2 | 11.1 | 11.1 |
| | あてはまらない | 32 | 0.0 | 0.0 | 3.1 | 0.0 | 3.1 | 0.0 | 0.0 | 3.1 | 93.8 | 3.1 | 3.1 |
| | わからない | 24 | 0.0 | 0.0 | 20.8 | 20.8 | 20.8 | 4.2 | 0.0 | 37.5 | 50.0 | 0.0 | 4.2 |

⑩ ヤングケアラーの自己認識×世話をすることに感じている大変さ

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」、「わからない」と回答した場合は、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、「身体的に大変である」、「精神的に大変である」、「時間的余裕がない」のいずれの項目も割合が高くなっている。さらに、「あてはまる」と回答した場合は、「わからない」と回答した場合に比べて割合が高くなっている。

図表－88 ヤングケアラーの自己認識×世話をすることに感じている大変さ(複数回答)

(%)

| | | 調査数 (n II) | 身体的に 大変である | 精神的に 大変である | 時間的 余裕がない | 特に 大変さは 感じて いない | 無 回答 |
|-----------------|---------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------------------|---------|
| ヤングケアラー かどうか | あてはまる | 19 | 26.3 | 31.6 | 36.8 | 42.1 | 5.3 |
| | あてはまらない | 133 | 6.8 | 9.0 | 3.8 | 78.9 | 4.5 |
| | わからない | 58 | 13.8 | 19.0 | 17.2 | 56.9 | 8.6 |

※小学5年生向けには、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「身体的に大変である」→「体がつかれて大変」
- ・「精神的に大変である」→「心がつかれて大変」
- ・「時間的余裕がない」→「時間によゆうがなくて大変」

⑪ ヤングケアラーの自己認識×世話に関する相談の有無

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」、「わからない」と回答した場合は、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、世話について相談したことが「ある」との割合が高くなっている。

図表－89 ヤングケアラーの自己認識×世話に関する相談の有無

(%)

| | | 調査数 (n II) | ある | ない | 無 回答 |
|-----------------|---------|---------------|------|------|---------|
| ヤングケアラー かどうか | あてはまる | 19 | 36.8 | 63.2 | 0.0 |
| | あてはまらない | 133 | 24.8 | 72.9 | 2.3 |
| | わからない | 58 | 32.8 | 63.8 | 3.4 |

⑫ ヤングケアラーの自己認識×世話について話を聞いてくれる人の有無

相談した経験が「ない」と回答した場合の、世話の悩みについて聞いてくれる人の有無について、ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」、「わからない」と回答した場合は、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、世話について話を聞いてくれる人が「いない」割合が高くなっている。

図表-90 ヤングケアラーの自己認識×世話について話を聞いてくれる人の有無 (%)

| | | 調査数 (n=) | いる | いない | 無回答 |
|-------------|---------|----------|------|------|-----|
| ヤングケアラーかどうか | あてはまる | 12 | 66.7 | 33.3 | 0.0 |
| | あてはまらない | 97 | 83.5 | 9.3 | 7.2 |
| | わからない | 37 | 59.5 | 32.4 | 8.1 |

⑬ ヤングケアラーの自己認識×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合は、「あてはまらない」、「わからない」と回答した場合に比べ、「自由に使える時間がほしい」、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」、「家庭への経済的支援」などの割合が高くなっている。

図表-91 ヤングケアラーの自己認識×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援(複数回答) (%)

| | | 調査数 (n=) | 自分の今の状況について話を聞いてほしい | 家族のお世話について相談にのってほしい | 家族の病気や障害、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい | 自分がしているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい | 自分がしているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい | 自由に使える時間がほしい | 進路や就職など将来の相談にのってほしい | 学校の勉強や受験勉強など学習のサポート | 家庭への経済的な支援 | わからない | 特になし | その他 | 無回答 |
|-------------|---------|----------|---------------------|---------------------|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|--------------|---------------------|---------------------|------------|-------|------|-----|-----|
| ヤングケアラーかどうか | あてはまる | 19 | 15.8 | 5.3 | 0.0 | 0.0 | 5.3 | 36.8 | 21.1 | 31.6 | 21.1 | 10.5 | 26.3 | 5.3 | 5.3 |
| | あてはまらない | 133 | 2.3 | 0.8 | 0.0 | 0.8 | 0.8 | 0.8 | 2.3 | 3.8 | 1.5 | 7.5 | 80.5 | 0.0 | 2.3 |
| | わからない | 58 | 6.9 | 3.4 | 3.4 | 3.4 | 1.7 | 13.8 | 6.9 | 17.2 | 5.2 | 19.0 | 51.7 | 1.7 | 1.7 |

- ※小学5年生向けには、漢字のひらがな表記への書き換えや、次の通り平易な表現への書き換えを行った。
- ・「家族の病気や障害、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい」→「家族の病気やしょうがい、お世話のしかたなどについてわかりやすく説明してほしい」
 - ・「進路や就職など将来の相談にのってほしい」→「将来のことについて相談にのってほしい」
 - ・「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」→「学校の勉強のサポートをしてほしい」
 - ・「家庭への経済的な支援」→「家庭へのお金についてのサポートをしてほしい」

4. アンケート調査 自由意見

アンケート調査において、さまざまな自由意見が寄せられた。ここでは、その一部を紹介する。以下に記載する意見は、原文のままではないが、なるべく回答者の表現を用いる形としている。

(1) 小学5年生

| 意見 |
|---|
| ヤングケアラーの手助けをするために、CMなどの広告にまとめて広めていくことが必要だと思います。理由は、テレビのCMならヤングケアラーの人も見ることができ、また、ヤングケアラーだと思っていなかった人もこのようなアンケートに答えられると思ったからです。 |
| 平気そうにしているも、なやんでいる人もいるから、できるだけ気付いてもらいたい |
| ヤングケアラーは、多いと聞いたことがあるのですが、このようなアンケートをひろめたり、相談しやすいかんきょうをつくるのが必要だと思います |
| そんな子がいるなんて、そうぞうもつきませんでした。 |
| 見えないSOSに気づいてあげたい。その子が話せる（相談）できる環境があるといい。 |
| 友達や学校の人などに知ってもらい、気をつかってもらえる、いざという時に協力してもらえる環境をつくっておく。 |
| 学校の先生やせいとがヤングケアラーを理解して、助け合うこと。ヤングケアラーをみんなが理解する。 |
| 周りの人が、なやみなどを相談しやすいように、良いふんいきを作ること。話をしっかりと聞いてあげることが、重ようだと思います。 |
| ヤングケアラーの人たちが、いつでも相談できるようなふんいきをつくるのが必要だと思います。また、私自身も「ヤングケアラー」という言葉を一度も聞いたことがなく、意味も知らなかったので、学校のおたよりにヤングケアラーのことをかいたりして広めることも必要だと思いました。 |
| 友達がつかれていたり、困ったりしている様子がみられたら、「だいじょうぶ。どうしたの？」と優しく声をかけてあげることが必要だと思います。 |
| もしこまっているお友達がいる、だれかにそうだんにのってほしいと思っているなら、そうだんにのってあげたい。もし私がヤングケアラーだったら、大人の人や友達に話を聞いてもらいたい。 |
| 話を聞く、家族以外に相談する所をつくる（今よりも、もっと相談しやすくする）、「ヤングケアラー」にあてはまる人どうして話し合うところをつくる |
| もしも、私がヤングケアラーで、だれかにそうだんすることになったら、質問せめにしないで、冷静にゆっくり聞いてほしいなと思った。 |
| 自分がヤングケアラーだと感じたり、何か悩みがあるときは、周りの人たちに相談をしたほうがいいと思う。また、そのような人たちが相談できる場所やふんいきを作ることが大事だと思う。 |
| ヤングケアラーがだれなのかわからないので、何をすればよいのかわからない。 |
| 一人で責任を抱え込んでいる人のために、これからもこのようなアンケートを続けたり、ヤングケアラーの生活支えんなどがあるといいと思います。 |
| わたしはヤングケアラーではないので、じょうきょうはあまりくわしくないのですが、ヤングケアラーの子にはよりそってあげて、少しでもその子の生活が楽になるように話を聞いてあげてほしいです。また、わたし自身も何か手伝えることがあれば、その子の話を聞いてあげたいです。 |
| 一人一人の事情を知る。ヤングケアラーだった人の話を聞く。（広めていく） |
| ヤングケアラーという言葉を知りませんでした。 |
| 世話をしている、本人がどうも思っていないときは、それが日常になっているわけだから人の日常をいじるのはよくないと思う |
| ヤングケアラーの人は友達や周りの人に相談しにくいと思うので、さっしてほしい。また、手助けを本人が嫌がるのならそれにしたがうべきだと思う。手助け側も本人の相談などをひいてはしない方がいい。 |

| 意見 |
|--|
| ヤングケアラーが相談できるような相談場所を作る。 |
| もし自分がそうでも「この子かわいそう」みたいな目では絶対に見てほしくない。知らないような目でみてほしい。 |
| 相談所を分かりやすくみんなに知らせてほしい。増やしてほしい。ヤングケアラーのことについてもっと沢山の人の人に伝えてほしい。ヤングケアラーの人を安心させる言葉を伝えてほしい。 |
| 家ぞくをたいせつにすることや、人のきもち（あいてのたちばになり）を考えてくらす。すこしだけじゃなく子ども（こどもだけじゃなく）のことを考えてあげる。 |
| ヘルパーなどのヤングケアラーの手助けをしてくれる人がいるとよいと思う。もし身近にヤングケアラーがいたら、なやみをきいてあげたり、話をきいてあげたりする。 |
| 学校でもアンケートをとってみる。（学校に来ている友達でも“ヤングケアラー”に属する人もいるかもしれないので、ていき的にアンケートをとり、気持ち、行動の変化がないか気にしてあげるようにする。）友達から、相談をうけたら、大人の人（親・先生・しんらい出来る人）に伝えてあげたい。 |
| 友だちにヤングケアラーがいたら、大人に相談する事をすすめる。 |
| だれかが気づいてあげること。本人もだれかに相談すること。 |
| ヤングケアラーの手助けは必要だけど子どもには、自分がヤングケアラーということを使う勇氣はないと思う。 |
| ヤングケアラーの意味がよくわかりません。 |
| クラスメートで困っている同級生がいたら先生に相談したり、学校内であれば勉強や話を聞いてあげたり、教えられと思う。 |
| ヤングケアラーのひとは忙しくてアンケートに答えられないと思う |
| 介護の大人の人に、ヤングケアラーの人がいる家に行って貰う。 |
| （私はヤングケアラーではないけれど）もっと他の人達にもヤングケアラーのことを知ってほしいと思いました。 |

(2) 中学2年生

| 意見 |
|--|
| そもそもヤングケアラーとは何かわからないため、自分がヤングケアラーという自覚がない人もいると思う。だから、まずはヤングケアラーの人がいるという事実や、どのようなものを教えてあげるべきだと思う。 |
| もっと言葉を誰でも知っているように広げていく必要がある（たとえば、もっとテレビなど） |
| ヤングケアラーがどういったものなのか理解を世に深めるために、ヤングケアラーについての講演会や授業等を行う。 |
| 相談先を増やすこと、相談方法のバリエーションを増やすこと。 |
| 僕も知らなかったので、知名度を広げるために活動を続けたほうが良いと思った。 |
| このようにアンケートを取ることで、自分の気持ちを言える人もいると思うからこのアンケートなどを続けたほうが良いと思いました。 |
| ヤングケアラーの方々がヤングケアラーの方と、または専門の知識を持っていらっしゃる方と相談できる場を作る。 |
| 学校で、ヤングケアラーの人がどこに相談をすれば良いかを授業などで教える機会をつくる。 |
| まず色々な人に「ヤングケアラー」という言葉を知ってもらわなければならないと思います。 |
| 学校などの道徳の教科書などにヤングケアラーについて載せたり先生との面談などで必ず生徒に聞いてみたりして問題があったら保護者にその自覚があるかなどを聞いてみたりしてヤングケアラーを少しでも減らすようにする。 |
| ヤングケアラーについてテレビなどで取り上げて、もっと多くの人に知ってもらった方がよいと思います。 |
| ラジオでヤングケアラーについて取り上げていたことがあり、知りました。 |
| ヤングケアラーに関するドラマ、漫画、小説を出す。連載中の漫画、小説に登場人物として出してもらおう。著名人に協力を要請する。 |

| 意見 |
|--|
| ヤングケアラーになっているという自覚がない人や、自覚があっても相談する人がいなかったり、強制されていたり、言い出しづらかったりするものだと思うので、学校でヤングケアラーについての授業をして、ヤングケアラーになった場合どうすればいいか、周りにそのような人がいた場合どのような対処を取ればよいか、世間がヤングケアラーを助けようとしている姿勢を見せてあげるのが一番いいのではないかと思います |
| 老人ホームなどの施設を増やすべき |
| 本当に大変なときや家庭の状況などが深刻すぎるときは周りに相談しづらいと思うからなるべくすぐ気づいてあげられるように常に周りを見る |
| ヤングケアラーのことについてもっと知って貰えるように、何か活動をすべき |
| ヤングケアラーを僕は内容を知らなかったのでもうみんなに知ってもらえるようにすればいいと思う。 |
| 自分は言いたいことを言えるタイプですが、大人の意見に怯えて自己主張できない子に気づいてあげてほしい。 |
| このようなアンケートを続けて行くこと |
| 介護のサポートをする人がいるといい。 |
| 相談する窓口があることを知らせること。 |
| これからもTVやラジオで取り上げれば知る機会も増えるかなと思います。 |
| 勉強の補助や、介護のお手伝いが、必要だと思います。 |

(3) 高校2年生

| 意見 |
|---|
| 経済力がなくても預けられるような施設を増やす。 |
| 家庭の状況がある程度知ることができるようにする。家庭に踏み込んでもいいと思います。ヤングケアラーに向けた取り組みをもっともっと広めてほしいです。“頼れる場所がある”ことを知らせるべきだと思います。 |
| プライバシーを侵害しない程度に家庭の状況を学校側が把握する。 |
| 市区町村が支援をする。 |
| どこまでがヤングケアラーで、どこまでが手伝いなのか、教えて欲しい。 |
| TVやSNSでヤングケアラーについての広告的なものをとりあげる |
| 相談できる機会を増やし、支援できる環境を整える。 |
| 多くの人に知ってもらうために資料を配布してみる。 |
| 認知症の祖母、手のあまり利かない祖父と同居しています。その介護は母が請け負うことがほとんどなのですが、祖母の食事の介助をするときに自分のぶんの食事ができておらず、自分で食事を作らなくてはならないことがあります。自分が直接世話をしている訳ではないですが、結果として家事などに時間をとられてしまい、勉強などができないことがあります。このように間接的に子供の権利？が守られないようなこともありえるのかなと思いました。 |
| 個人としては、どうしても「親の理解」が必要になってくると思います。私は普段、学校の友達と家庭環境と成績の相関について話をするのですが、自由に暮らせていない人達の方は親の考え方によるものだというような印象を受けます。 |
| ヤングケアラーの実態を調査するだけでなく、学校の先生など身近にサポートできる人や団体があれば良いと思う。 |
| 介護士の給料を高くして介護士を増やし、ヤングケアラーのいる家庭に必ず1人の介護士を派遣できるようにする。そのためにまずはヤングケアラーという言葉を広めること、困っている人が多くいるという現状を伝えるために、プリントを作成し学校や公共施設で配布する。また、若い世代に焦点を当てるならば、TwitterやInstagramなどのSNSで発信する |
| ヤングケアラーが増えていることだけでなく、介護をしたことがない人でも簡単にできるようなサポートの仕方や方法(足が悪く座り込んでしまった場合に立ち上がらせる方法など)も発信する |

5. 調査結果のまとめと考察

(1) 調査結果のまとめ

(ア) 家族の世話をしているのは、小学 5 年生で 4.4%、中学 2 年生で 2.2%

世話をしている家族がいると回答した市立学校の小学 5 年生は 4.4%、中学 2 年生は 2.2%であった。なお、高校 2 年生は 1.2%であったが、市立高校は仙台市内の高等学校の一部に過ぎず、回収数も 173 と少ないことなどから、仙台市の高校 2 年生全体の傾向とまでは言えず、参考値として取り扱うことが妥当である。

(イ) 世話を必要としている家族ごとの傾向

世話を必要としている家族は、いずれの学校種でもきょうだいの割合が最も高く、小学 5 年生で約 8 割、中学 2 年生で約 7 割であった。世話を必要とするきょうだいの状況としては、「幼い（自分より小さい子ども）」が多数を占め、世話をすることに感じている大変さについては、対象が父母や祖父母の場合と比べて「特に大変さは感じていない」の割合が高くなっているが、障害のあるきょうだいの世話をしている例もあり、状況に応じて世話の内容も変わってくるものと考えられる。

世話を始めた時期については、対象が父母の場合は「小学生（低学年）」、祖父母ときょうだいの場合は「小学生（高学年）」の割合が高くなっている。

世話をしている頻度としては、対象が祖父母、きょうだいの場合、父母と比べて「ほぼ毎日」の割合が高くなっているが、一方で世話をすることに感じている大変さについては、対象が父母の場合で「身体的に大変である」、「精神的に大変である」の割合が他と比べて高くなっている。

世話を一緒にする人については、対象が父母の場合、「自分のみ」の割合が他と比べて高くなっている。また、対象が祖父母の場合、「母親」、「父親」、「きょうだい」などの家族に加え、「福祉サービス（ヘルパーなど）を利用」の割合が高くなっている。

平日 1 日あたりの世話に費やす時間については、対象が祖父母の場合、父母やきょうだいと比べて「3～7 時間未満」、「7 時間以上」の割合が高く、世話の時間が長くなる傾向がうかがえる。祖父母の世話が必要な場合で、福祉サービスが入っていない、又は不十分な場合には、子どもの役割が大きくなるケースがあることが懸念される。

(ウ) 家族構成ごとの傾向

世話を必要としている家族については、他の家族構成に比べて、ひとり親家庭で「父母」の割合が高くなっている。また、世話の内容については、他の家族構成で高くなっている「見守り」については低い一方で、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」の割合が高くなっており、世話に対して担っている役割が大きいことがうかがえる。

また、ひとり親家庭では、他の家族構成に比べて、世話を「自分のみ」で行っている割合が高く、世話をしているために、やりたいけれどできていないこと、として「友人（友達）と遊ぶことができない」、「部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった」の割合が高く、遊びや習い事に充てる時間を削って、家で勉強等の時間を作っている様子が見られる。学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援についても、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」の割合が、他の家族構成と比較して高くなっている。

三世帯世帯では、祖父母の世話をしている割合が他の家族構成と比較して高い。前述のとおり、祖父母の世話をしている場合には、平日 1 日あたりの世話に費やす時間が長くなっていることから、三世帯世帯の場合には、他の家族構成に比べて平日 1 日あたりの世話に費やす時間が長い傾向となっている。

(エ) 家族の世話をしていることでの影響

家族の世話をしている場合、健康状態が「よくない・あまりよくない」、出席状況が「たまに欠席する」、「よく欠席する」、遅刻や早退が「たまにする」、「よくする」と回答した児童生徒の割合が高くなっており、家族の世話をしていない場合に比べ、健康状態や学校生活に影響が生じている可能性があるものと考えられる。

また、家族の世話をしている場合、学校生活において「持ち物の忘れ物が多い」、「提出しなければならない書類などの提出が遅れることが多い」、「宿題や課題ができていないことが多い」などの割合も高くなっており、こうした学校生活等での状況は支援が必要なヤングケアラーである可能性を示す兆候になりうると考えられる。

さらに、家族の世話をしている場合には、していない場合と比べて、「学業成績のこと（勉強や成績のこと）」、「進路のこと（将来のこと）」、「友人との関係のこと（友達との関係のこと）」など、悩みや困りごとを抱えている割合が高くなっていることにも留意する必要がある。

(オ) 性別による違い

女性は、世話の内容として複数の役割を担っている場合が多く、男性に比べて、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」をはじめ、ほとんどすべての項目の割合が高くなっている。世話の頻度については、男性と女性で大きな差はみられないが、世話に費やす時間は、男性に比べて女性で長い傾向が見られ、世話をすることに感じている大変さについても、女性は男性より「精神的に大変である」、「時間的余裕がない」の割合が高くなっており、女性で世話の負担が大きいことが推察される。

一方で、家族の世話をしている場合、女性については 32.8%が世話に関する相談をしたことがあると回答しているが、男性は 18.0%となっており、女性の方が相談をしやすい傾向がみられる。また、相談相手については、女性は家族の割合が男性より低く、「友人」の割合が男性より高くなっている。

(カ) 世話に費やす時間の長さが及ぼす影響

家族の世話をしている場合、平日 1 日あたりの世話に費やす時間については、小学 5 年生は平均 2.1 時間、中学 2 年生は平均 2.9 時間であった。平日 1 日あたりの世話に費やす時間が 3 時間未満である場合には、健康状態について「よくない・あまりよくない」の割合が 2.9%であるのに対して、3～7 時間未満の場合には 7.0%、7 時間以上である場合には 8.3%となっており、長時間の世話による影響の可能性がうかがわれる。また、世話に費やす時間が長いほど、学校を「ほとんど欠席しない」の割合は低くなる傾向がみられる。

平日 1 日あたりの世話に費やす時間が 3 時間以上になると、学校生活において「宿題や課題ができていないことが多い」の割合が高くなり、さらに、世話に費やす時間が 7 時間以上になると、「部活動や習い事を休むことが多い」、「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」の割合が高くなるなど、影響の広がりがみられる。また、現在の悩みや困りごとについても、世話に費やす時間が 3 時間以上の場合、3 時間未満に比べて、多くの項目で割合が高くなっている。

(キ) 家族の世話の有無とヤングケアラーであるとの自己認識

自身がヤングケアラーにあてはまるか「わからない」と回答した場合の健康状態、出席状況、遅刻や早退の状況、ふだんの学校生活等であてはまること、などをみていくと、自分がヤングケアラーに「あてはまる」と回答した場合とよく似た傾向を示しており、「わからない」と回答した中には、実際には支援が必要な状態ではあるものの、その自覚がない児童生徒がいるものと推察される。

また、中学 2 年生、高校 2 年生では、ヤングケアラーに「あてはまる」と回答した場合、そうでな

い場合と比べて、現在の悩みや困りごととして「自分と家族との関係のこと」、「家庭の経済的状況のこと」、「家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）」、「病気や障害のある家族のこと」など、家庭や家族に関する悩みや困りごとを抱えている場合が多いことがうかがえる。世話をすることに感じている大変さについても、「あてはまる」と回答した場合は「わからない」の場合と比べて、大変さを感じている割合が高くなっている。

相談の状況については、「あてはまる」、「わからない」と回答した場合には、「あてはまらない」と回答した場合と比較して、相談した経験が「ある」割合が高い。一方で、「あてはまる」、「わからない」と回答した児童生徒のうち、相談をした経験が「ない」もののそれぞれ3割以上が、世話の悩みについて聞いてくれる人が「いない」と回答しており、支援が必要となった場合に誰かに相談しやすい環境が必要であると考えられる。

(2) 考察

- 今回の調査は、学校経由で調査票を児童生徒に配布し、児童生徒は調査票を持ち帰り自宅で回答する形式の、任意のアンケート調査として実施した。回収率向上のため、Webでの回答環境を設けたほか、学校からの働きかけも行ったが、全体の回収率は36.8%であり、特に高校2年生の回収率は18.5%にとどまった。特に今回の調査は、家庭や家族の状況に踏み込む内容であり、年齢が高くなるにつれ、正直に回答することに抵抗感を感じ、「回答しない」という選択をする場合があったものと推察される。回答しなかった層には、支援が必要なヤングケアラーが、回答した層よりも多く存在している可能性がある、ということも考慮に入れる必要がある。
- ヤングケアラーについては、家庭内のデリケートな問題であることから、支援が必要であっても表面化しにくい構造であることが指摘されている。今回の調査では、ヤングケアラーに「あてはまる」と回答した場合には、そうでない場合と比較して、家庭や家族に関する悩みや困りごとを抱えている割合が高い傾向がみられた。子どもの中には、家族の状況を知られることを恥ずかしいと思っていたり、あるいは家族のケアをすることが生きがいになっていたりする場合もあることから、支援が必要だと思われる際には、まずは子どもの話をよく聞き、その気持ちに寄り添う姿勢が求められる。
- また、ヤングケアラーについては、本人や家族に自覚がない場合が多く、支援につながりにくいことも指摘されている。今回のアンケート調査の結果でも、自分がヤングケアラーにあてはまるかどうか、という設問に対し、「わからない」と回答した児童生徒は、多くの設問で、「あてはまる」と回答した児童生徒と似た傾向がみられ、実態としては、「あてはまる」と回答した場合と大きく変わらない状態である可能性が高い。ヤングケアラーについて「知っている」と回答した割合もまだ低く、自分は支援が必要な状態かもしれない、と子ども自身が気付くためにも、「ヤングケアラー」という概念を広く社会全体に周知・啓発する必要がある。一方で、子どもが家事や家族の世話をすることは、それ自体が悪いことではないことから、今後の事業展開にあたっては、「ヤングケアラー＝悪いこと」という誤ったメッセージにならないよう、留意する必要がある。
- 家族の世話をしていると回答した児童生徒の半数以上は、世話をすることに対して「特に大変さを感じていない」と回答しており、相談した経験も半数以上が「ない」となっている。世話をすることに対して、何らかの大変さを感じている場合には、大変さを感じていない場合と比べて「相談したことがある」の割合が高くなってはいるものの、「身体的に大変である」、「精神的に大変である」と回答した場合でも「相談したことがない」割合の方が高くなっており、子どもは限界に達するまで相談をしない場合も多いことに留意する必要がある。また、現在は大変さを感じていない場合であっても、状況が変化することで家事や家族の世話の負担が増加し、支援が必要な状態に陥るリスクは誰も抱えており、子どもが助けを必要とする状態となったときに、声を上げられるような関係づくり、環境づくりを進めることが重要である。

6. 資料編

(1) 「小学生の生活実態に関するアンケート」調査票

小学生調査票

「小学生の生活実態に関するアンケート」

皆さんが、お手伝いや家族のお世話などをすることは、すばらしいことですが、中には本当は大人がすると考えられるような事や家族の世話を、毎日のように行うことで、心や体に負担を感じたり、また、そのことをだれにも相談できず、なやんだりしている子どもがいることが、分かってきました。

このアンケートは、仙台市の市立小学校に通っている、5年生の全ての児童を対象に、皆さんの学校や家庭での生活の様子や、その中で抱えるなやみや、こまりごとなどについて回答をしていただくものです。

答えにくい質問は回答しなくても構いませんし、提出された回答は、個人がわからないようになっていますので、安心して答えてください。

なやんでいる児童の皆さんのために、周りの大人がどんなことが出来るかを考えていくための調査です。
(アンケートの回答にかかる時間は10～15分程度です。)

※回答のしめきり：2022年1月12日(水)

◆ここ回答にあたってのお願い◆

- 回答は、アンケート用紙を返信用封筒により郵送する方法、または、スマートフォンやパソコンを用いてインターネットで回答する方法のどちらかを選ぶことができます。なお、回答は一人1回限りです。
- 郵送により回答する場合は、同封している返信用封筒に入れて、ポストへ投函してください。(切手を貼らなくても構いません。)
- 答えにくい質問は回答しなくても構いません。
- 氏名や学校名を書かなくてよい調査票ですので、個人が特定されることはありません。
- 回答したくない場合も、返信用封筒に入れ、何も書かずに返送してください。

◆本調査に関するお問い合わせ先

「仙台市委託業務 小学生・中高生の生活実態調査事務局」

電話

eメール

1

「小学生の生活実態に関するアンケート」調査票

◎ ヤングケアラーについて

ヤングケアラーとは、「本当は大人がすること考えられるような事や家族の世話を、毎日のように行うことにより、子ども自身がやりたいことができず、子ども自身の権利が守られていないと懸念される子ども」のことをいいます。

「ヤングケアラー」のイメージ (例)

◎一般社団法人日本ケアラー連盟/ Illustration: Izumi Shiga

| | | | |
|---|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| <p>家計に代わり、高いお金を稼いでいる。まよふたりの世帯や世帯を支えている。</p> | <p>親がいやいやあるある。親や兄弟姉妹の世帯を支えている。</p> | <p>親がいやいやあるある。親や兄弟姉妹の世帯を支えている。</p> | <p>親がいやいやあるある。親や兄弟姉妹の世帯を支えている。</p> |
| <p>親がいやいやあるある。親や兄弟姉妹の世帯を支えている。</p> | <p>親がいやいやあるある。親や兄弟姉妹の世帯を支えている。</p> | <p>親がいやいやあるある。親や兄弟姉妹の世帯を支えている。</p> | <p>親がいやいやあるある。親や兄弟姉妹の世帯を支えている。</p> |

◎ 回答方法の選択について

回答方法は、本調査票を郵送により届出する方法と、スマートフォンやパソコンによりインターネットで回答する方法があります。回答にかかる時間は10～15分です。

・郵送により回答する ⇒ 次ページへ進んでください。
・インターネットで回答する ⇒ 下記のURLを入力するか、QRコードを読み取り、回答ページへお入りください

★URL: [Redacted]
★QRコード: [Redacted]

2

I. 基本情報

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号一つに○)

| |
|--------|
| 1. 男性 |
| 2. 女性 |
| 3. その他 |

問2 あなたの住んでいる区を教えてください。(あてはまる番号一つに○)

| | |
|---------|--------------------|
| 1. 青葉区 | 4. 水田区 |
| 2. 宮城野区 | 5. 泉区 |
| 3. 若林区 | 6. 仙台市以外 ⇒市町村名 () |

問3 現在一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

| | |
|---------------|--------------|
| 1. 母親 | 5. 兄・姉 |
| 2. 父親 | 6. 弟・妹 |
| 3. 祖母 (おばあさん) | 7. その他 ⇒ () |
| 4. 祖父 (おじいさん) | |

問4 あなたの健康の様子について教えてください。(あてはまる番号一つに○)

| |
|------------|
| 1. よい |
| 2. まあよい |
| 3. ふつう |
| 4. あまりよくない |
| 5. よくない |

II. ふだんの生活について教えてください。

問5 学校への登校の様子について教えてください。(①②それぞれ、あてはまる番号一つに○)

| | |
|--------------------------|------------------------|
| ①出席状況 | ②遅刻や早退 |
| 1. ほとんど欠席しない (年に0~3日くらい) | 1. ほとんどしない (年に0~3日くらい) |
| 2. たまに欠席する (月に1日くらい) | 2. たまにする (月に1日くらい) |
| 3. よく欠席する (週に1日くらい) | 3. よくする (週に1日くらい) |

問6 課外活動 (スポーツ少年団、ブラスバンド、合唱等)、じゅく・習い事などをしていますか。(あてはまる番号一つに○)

| |
|----------|
| 1. している |
| 2. していない |

問7 ふだんの学校生活等において、以下の中であてはまるものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

| |
|-----------------------------|
| 1. 授業中にいぼりすることが多い |
| 2. 宿題ができていないことが多い |
| 3. わずれ物が多い |
| 4. 課外活動、じゅく・習い事を休むことが多い |
| 5. 先生に出す提出物が遅くなるが多い |
| 6. 野外活動などの宿泊行事を欠席する |
| 7. 保健室で過ごすことが多い |
| 8. 学校では一人で過ごすことが多い |
| 9. 友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない |
| 10. あてはまるものはない |

問8 親は、なやんだり、こまったりしていることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

| |
|------------------------------|
| 1. 友達との関係のこと |
| 2. 勉強や宿題のこと |
| 3. 将来のこと |
| 4. お金のこと |
| 5. 課外活動、じゅく・習い事ができないこと |
| 6. 自分と家族との関係のこと |
| 7. 家族内の人間関係のこと (両親の仲がよくないなど) |
| 8. 病気やしようがいのある家族のこと |
| 9. 自分のために使える時間が少ないこと |
| 10. 特になし |
| 11. その他 () |

問9 問8で「10. 特になし」以外を回答した方にお聞きします。回答した「なやみ」や「こまりごと」について、相談にのってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。(あてはまる番号一つに○)

| |
|------------------------------|
| 1. 相談にのってくれる人や、話を聞いてくれる人がいる |
| 2. 相談にのってくれる人や、話を聞いてくれる人がいない |
| 3. 相談や話をしたくない |

III. 家庭や家族のことについて教えてください。

問10 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(あてはまる番号一つに○)

(ここでいう「お世帯」とは、本当は大人が育てと考えられる事や家族の世話をすることで、具体的に本アンケート用紙のアンケート目録にイラスト付きの例をのべていますので、ごらんください。)

| |
|--------------|
| 1. いる ⇒問11へ |
| 2. いない ⇒問20へ |

問11 問10で「1. いる」と回答した方にお聞きします。①誰のお世話をしているか、②お世話を必要としている方はどんな人か、③あなたがしているお世会の内容、について下記の選択肢一覧から選び、回答欄にあてはまる番号を記入してください。あなたがお世話をしている人が、二人以上いる場合はそれぞれにお答えください。

| 【回答欄】 | ①誰のお世話をしているか | ②お世話を必要としている方はどんな人か | ③あなたがしているお世会の内容 |
|-------|--------------|---------------------|-----------------|
| 【記入例】 | 1 | 3, 5 | 1, 4, 5 |
| 一人目 | | | |
| 二人目 | | | |
| 三人目 | | | |
| 四人目 | | | |
| 五人目 | | | |

【選択肢一覧】

- ① 誰のお世話をしていますか (あてはまるものを一つ選び、番号を回答欄に記入)
1. 母親
 2. 父親
 3. 祖母 (おばあさん)
 4. 祖父 (おじいさん)
 5. きょうだい
 6. その他 (内容を回答欄に記載してください)
- ② お世話を必要としている (①で選んだ) 方はどんな人ですか (あてはまるものをすべて選び、番号を回答欄に記入)
1. お年寄り (65歳以上)
 2. 自分より小さい子ども
 3. 介護が必要
 4. 身体にしようがいがある
 5. 病氣
 6. その他 (内容を回答欄に記載してください)
- ③ (①で選んだ方に列して) あなたがしているお世会の内容 (あてはまるものをすべて選び、番号を回答欄に記入)
1. 家事 (食事の準備やそうじ、せんたく)
 2. きょうだいの世話や探検場所等への送りむかえ
 3. 入浴やトイレのお世話など
 4. 外出の付きそい (買い物、散歩など)
 5. 病院への付きそい
 6. くちを聞く、話し相手になるなど
 7. 見守り
 8. 通訳 (日本語や手話など)
 9. お金の管理
 10. 車の管理
 11. その他 (内容を回答欄に記載してください)

★以下は、あなたがお世話をしている方が、二人以上いる場合も、まとめてお答えください。

- ④ お世会は誰としていきますか。 (あてはまる番号すべてに○)
1. 母親
 2. 父親
 3. 祖母 (おばあさん)
 4. 祖父 (おじいさん)
 5. きょうだい
 6. 親戚 (おじ、おばなど)
 7. 自分のみ
 8. 福祉サービス (ヘルパーなど) を利用
 9. その他 ()

- ⑤ あなたが何歳のとまからお世話をしていますか、(はっきりとわからぬ場合は、だいたいのお年寄りかまいません) () 歳から
- ⑥ のくくらいのお世話をしていますか。 (あてはまる番号一つに○)
1. ほぼ毎日
 2. 週に3~5日
 3. 週に1~2日
 4. 1か月に数日
 5. その他 ()
- ⑦ 平日にお世話はどのくらい行っていますか。時間数をお答えください。(日によって違う場合は、この1か月の中でお世話をした時間が最も長かった日の時間数をお答えください)
- 1日 () 時間くらい

問12 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 学校に行きたくても行けない
2. どうしても学校を遅刻・早退してしまふ
3. 宿題をする時間や勉強する時間が取れない
4. ねる時間が十分に取れない
5. 友達と遊ぶことができない
6. 課外活動、じゅく・習い事ができない、またはやめなければならなかった
7. 自分の時間が取れない
8. 特になし
9. その他 ()

問13 お世話をすることに大変さを感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 体がつかれて大変
2. 心がつかれて大変
3. 時間によつたらがなくて大変
4. 特に大変さは感じていない

問14 お世話を必要としている家族のことや、お世会のなやみを誰かに相談したことはありますか。

- ① お世会は誰としていきますか。 (あてはまる番号一つに○)
1. ある ⇒問15へ
 2. ない ⇒問16へ

問15 問14で「1. ある」と回答した方にお聞きします。それは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 家族(母、父、祖父母、兄弟、きょうだい)
2. 親せき(おじ、おばなど)
3. 友達
4. 学校の先生(保護者の先生以外)
5. 保護者の先生
6. スクールカウンセラーや、さわやか相談員
7. お医者さんや看護師さん、その他病院の人
8. ヘルパーさんや福祉サービスの人
9. 役所や、保健福祉センターの人
10. 近所の人
11. SNS上での知り合い
12. その他()

問16 問14で「2. ない」と回答した方にお聞きします。相談してない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 誰かに相談するほどのなやみではない
2. 誰に相談するのがよいかかわからない
3. 相談できる人が身近にいない
4. 家族のことを知られたくない
5. 家族や自分のことを家のみで考えたくはない
6. 相談しても今よりよくなると思わない
7. その他()

問17 問14で「2. ない」と回答した方にお聞きします。お世話を必要としている家族のことや、お世話をなやみをお願いしてくれる人はいませんか。(あてはまる番号一つに○)

1. いる
2. いない

問18 学校や周りの大人に助けてほしいことや、手伝ってほしいことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 自分のいまの状況について話を聞いてほしい ⇒○を付けた人は問19へ
2. 家族のお世話について相談のつてほしい ⇒○を付けた人は問19へ
3. 家族の病気やしよすが、お世話のしかたなどについてわかりやすく説明してほしい
4. 自分がしているお世話をすべてを代わりにしてくれる人やサービスがほしい
5. 自分がしているお世話を一部を代わりにしてくれる人やサービスがほしい
⇒具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか
()
6. 自由に使える時間がほしい
7. 将来のことについて相談のつてほしい
8. 学校の勉強のサポートをしてほしい
9. 家庭へのお金についてのサポートをしてほしい
10. わからない
11. 朝にない
12. その他()

問19 問18で「1. 自分のいまの状況について話を聞いてほしい」、「2. 家族のお世話について相談のつてほしい」と回答した方にお聞きします。どのような方法で話を聞いてほしい、相談のつてほしいですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 直接来て
2. 電話
3. SNS (LINEなど)
4. 電子メール
5. その他()

※アンケートの最後に相談先をのべていますので、ごまったときは話をしてみてください。

IV. ヤングケアラーについて

※ヤングケアラーとは、「本当は大人がすると思われるような家事や家族の世話を、朝日のように行うことにより、子ども自身が行うことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと懸念される子ども」のことをいいます。本アンケート用紙の2ページ目にイラストをのべていますので、ごらんください。

問20 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると感じますか。(あてはまる番号一つに○)

1. あてはまる
2. あてはまらない
3. わからない

問21 「ヤングケアラー」という言葉をこれまで聞いたことがありましたか。(あてはまる番号一つに○)

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない

問22 問21で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまる番号すべてに○)

1. テレビや新聞、ラジオ
2. 雑誌や本
3. SNSやインターネット
4. 広告やチラシ、掲示物
5. イベントや交流会など
6. 学校
7. 友達・知り合いから聞いた
8. その他()

問23 ヤングケアラーのサポートをしていくために必要だと感じることや、周りの人にしてほしいことなど自由に書いてください。特にない場合は書く必要はありません。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

◎ **ヤングケアラーかも、と思った場合の相談先**

ヤングケアラーかも?と思った場合や、こまっていることがある場合は、周囲の大人や、以下の相談先に基づきみて下さい。

○ **学校に相談したいとき**

学校の先生、スクールカウンセラー

○ **電話で相談したいとき**

子供相談支援センター（ヤングテレホン相談） TEL 0120-783-017（24時間、365日対応）
児童相談所（相談専用電話） TEL 022-718-2580
児童相談所（全国共通ダイヤル） TEL 189

○ **メール・LINEで相談したいとき**

子供相談支援センター（子どもメール相談）
せんたいみやぎ子ども・子育て相談（LINE相談）

kodomo@city.sendai.jp

QRコード



○ **区役所に相談したいとき**

青葉区 新築健康課（子供支援係） TEL 022-225-7211
青葉区宮城総合支所 保健福祉課（子供支援係） TEL 022-392-2111
宮城野区 家庭健康課（子供支援係） TEL 022-291-2111
若林区 新築健康課（子供支援係） TEL 022-282-1111
太白区 新築健康課（子供支援係） TEL 022-247-1111
泉区 家庭健康課（子供支援係） TEL 022-372-3111

(2) 「中高生の生活実態に関するアンケート」調査票

中高生調査票

「中高生の生活実態に関するアンケート」調査票

◎ ヤングケアラーについて

ヤングケアラーとは、「本来大人がすると考えられるような家事や家族の世話を、日常的に行うことにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと認められる子ども」のことをいいます。

(ヤングケアラーのイメージ 例)

料理や洗濯の必要な家事に代わり、朝、昼、夜の食事や洗濯などの家事をしている。
 料理や洗濯の必要な家事に代わり、朝、昼、夜の食事や洗濯などの家事をしている。
 料理や洗濯の必要な家事に代わり、朝、昼、夜の食事や洗濯などの家事をしている。
 料理や洗濯の必要な家事に代わり、朝、昼、夜の食事や洗濯などの家事をしている。
 料理や洗濯の必要な家事に代わり、朝、昼、夜の食事や洗濯などの家事をしている。
 料理や洗濯の必要な家事に代わり、朝、昼、夜の食事や洗濯などの家事をしている。
 料理や洗濯の必要な家事に代わり、朝、昼、夜の食事や洗濯などの家事をしている。
 料理や洗濯の必要な家事に代わり、朝、昼、夜の食事や洗濯などの家事をしている。


◎一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : Izumi Shiga


◎ 回答方法の選択について

回答方法は、本調査票を郵送により届出する方法と、スマートフォンやパソコンによりインターネットで回答する方法が選べます。回答に要する時間は10～15分です。

・郵送により回答する ⇒ 次ページへ進んでください。

・インターネットで回答する ⇒ 下記のURLを入力するか、QRコードを読み取り、回答ページへお入りください。

★URL: 

★QRコード: 

「中高生の生活実態に関するアンケート」

皆さんが、お手伝いや家族のお世帯などをすることは、すばらしいことです。中には本来、大人がすると考えられるような家事や家族の世帯などを、日常的に行うことで、自分のための時間が作れず、心や体に負担を感じたり、また、そのことを誰にも相談できず悩んでいる生徒がいることが、近年の全国調査で分かってきました。

このアンケートは、仙台市の市立中学校、市立高等学校および市立中等教育学校に通っている、中学2年生および高校2年生（中等教育学校は2年生および5年生）の全生徒を対象に、皆さんの学校や家庭での生活状況や、その中で抱える悩みや困りごとなどについて回答をしていただくものです。

提出された回答は、統計的に処理した上で取り扱いますので、個人が特定されることはありません。より良い支援策を検討していくため、皆さんのご協力をお願いします。
なお、各質問の受け止めや、選択肢への感じ方は人それぞれです。回答に際しては、考え込まず、自分自身の感覚で答えてください。（所要時間は10～15分程度です。）

※ 回答のしめきり：2022年1月12日（水）

◆ 〆ご回答にあたってのお願い◆

- 回答は、本アンケート用紙を返信用封筒により郵送する方法、または、スマートフォンやパソコンを用いてインターネットで回答する方法のどちらかを選ぶことができます。なお、回答は一人1回限りです。
- 郵送により回答する場合は、同封している返信用封筒に入れて、ポストへ投函してください。（切手は不要です。）
- 答えにくい質問は回答しなくても構いません。また回答しないことによる不利益もありません。
- 氏名や学校名の記載を求めない調査票ですので、個人が特定されることはありません。
- 回答したくない場合は、返信用封筒にて、何らかずらに返送してください。
- 本調査は、仙台市がハルコムコミュニケーションズ株式会社と業務委託して実施しています。

◆ 本調査に関するお問い合わせ先

「仙台市委託業務 小学生・中高生の生活実態調査事務局」

電話

eメール:

I. 基本情報

問1 あなたの学年を教えてください。(あてはまる番号一つに○)

1. 中学2年生 (中等教育学校2年生を含む)
2. 高校2年生 (中等教育学校5年生を含む)
3. 定時制高校2年生
4. あてはまるものはない

問2 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号一つに○)

1. 男性
2. 女性
3. その他

問3 あなたの住んでいる区を教えてください。(あてはまる番号一つに○)

1. 青葉区
2. 宮城野区
3. 若林区
4. 水田区
5. 泉区
6. 仙台市以外 ⇒市町村名 ()

問4 現在一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 母親
2. 父親
3. 祖母
4. 祖父
5. 兄・姉
6. 弟・妹
7. その他 ⇒ ()

問5 あなたの通学状態について教えてください。(あてはまる番号一つに○)

1. よく
2. まあよい
3. ぶつう
4. あまりよくない
5. よくない

II. ふだんの生活についてお伺いします。

問6 学校への通学状況等について教えてください。(あてはまる番号一つに○)

- ①出席状況
1. ほとんど出席しない (年に0~3日くらい)
 2. たまに出席する (月に1日くらい)
 3. よく出席する (週に1日くらい)
- ②遅刻や早退
1. ほとんど欠席しない (年に0~3日くらい)
 2. たまにする (月に1日くらい)
 3. よく欠席する (週に1日くらい)

問7 前活動 (学校外での活動を含む) に参加していますか。(あてはまる番号一つに○)

1. 参加している
2. 参加していない

問8 ふだんの学校生活等において、以下の中であてはまるものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 授業中に居眠りすることが多い
2. 宿題や課題ができていないことが多い
3. 持ち物の忘れ物が多い
4. 部活動や習い事を休むことが多い
5. 提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い
6. 修学旅行などの宿泊行事を欠席する
7. 保健室で過ごすことが多い
8. 学校では1人で過ごすことが多い
9. 友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
10. あてはまるものはない

問9 親ば、祖んだり、困ったりしていることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 友人との関係のこと
2. 学業成績のこと
3. 進路のこと
4. 部活動のこと
5. 学費 (教材費、制服) など学校生活に必要なお金のこと
6. 塾 (通信講座含む) や習い事ができないこと
7. 家庭の経済的状況のこと
8. 自分と親との関係のこと
9. 家族内の人間関係のこと (両親の仲が良くないなど)
10. 病気や障害のある家族のこと
11. 自分のために使える時間が少ないこと
12. 特になし
13. その他 ()

問10 問9で「12. 特になし」以外を回答した方にお聞きします。回答した悩みや困りごとについて、相談のつてくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。(あてはまる番号一つに○)

1. 相談のつてくれる人や、話を聞いてくれる人がいる
2. 相談のつてくれる人や、話を聞いてくれる人がいない
3. 相談や話をしたくない

III. 家庭や家族のことについてお伺いします。□

問11 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(あてはまる番号一つに○)

(ここでいう「お世話」とは、本人人がすると考えられる家事や家族の世話をすることで、具体的には本アンケート用紙の2ページ目にイラスト付きの例を載せていますので、ご覧ください。)

1. いる ⇒問12へ
2. いない ⇒問21へ

問12 問11で「1. いる」と回答した方にお聞きします。①誰のお世話をしているか、②お世話を必要としている方はどんな人か、③あなたがしているお世帯の内容、④あなたがしているお世帯の内容、⑤あなたがしているお世帯の内容、⑥あなたがしているお世帯の内容、⑦あなたがしているお世帯の内容、⑧あなたがしているお世帯の内容、⑨あなたがしているお世帯の内容、⑩あなたがしているお世帯の内容、⑪あなたがしているお世帯の内容、⑫あなたがしているお世帯の内容、⑬あなたがしているお世帯の内容、⑭あなたがしているお世帯の内容、⑮あなたがしているお世帯の内容、⑯あなたがしているお世帯の内容、⑰あなたがしているお世帯の内容、⑱あなたがしているお世帯の内容、⑲あなたがしているお世帯の内容、⑳あなたがしているお世帯の内容、㉑あなたがしているお世帯の内容、㉒あなたがしているお世帯の内容、㉓あなたがしているお世帯の内容、㉔あなたがしているお世帯の内容、㉕あなたがしているお世帯の内容、㉖あなたがしているお世帯の内容、㉗あなたがしているお世帯の内容、㉘あなたがしているお世帯の内容、㉙あなたがしているお世帯の内容、㉚あなたがしているお世帯の内容、㉛あなたがしているお世帯の内容、㉜あなたがしているお世帯の内容、㉝あなたがしているお世帯の内容、㉞あなたがしているお世帯の内容、㉟あなたがしているお世帯の内容、㊱あなたがしているお世帯の内容、㊲あなたがしているお世帯の内容、㊳あなたがしているお世帯の内容、㊴あなたがしているお世帯の内容、㊵あなたがしているお世帯の内容、㊶あなたがしているお世帯の内容、㊷あなたがしているお世帯の内容、㊸あなたがしているお世帯の内容、㊹あなたがしているお世帯の内容、㊺あなたがしているお世帯の内容、㊻あなたがしているお世帯の内容、㊼あなたがしているお世帯の内容、㊽あなたがしているお世帯の内容、㊾あなたがしているお世帯の内容、㊿あなたがしているお世帯の内容、

| 【回答欄】 | ①誰のお世話をしているか | ②お世話を必要としている方はどんな人か | ③あなたがしているお世帯の内容 |
|-------|-----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 説明 | ※下記の選択肢一覧の中から、あてはまるものを一つ選び、番号を記入。 | ※下記の選択肢一覧の中から、あてはまるものをすべて選び、番号を記入。 | ※下記の選択肢一覧の中から、あてはまるものをすべて選び、番号を記入。 |
| 【記入例】 | 1 | 3, 5 | 1, 4, 5 |
| 一人目 | | | |
| 二人目 | | | |
| 三人目 | | | |
| 四人目 | | | |
| 五人目 | | | |

【選択肢一覧】

①誰のお世話をしていますか (あてはまるもの一つ選び、番号を回答欄に記入)

1. 母親
2. 父親
3. 祖母
4. 祖父
5. きょうだい
6. その他 (内容を回答欄に記載してください)

②お世帯を必要としている (①で選んだ)方はどんな人ですか (あてはまるものをすべて選び、番号を回答欄に記入)

1. 高齢 (65歳以上)
2. 若い
3. 要介護 (介護が必要な状態)
4. 認知症
5. 身体障害
6. 知的障害
7. 精神疾患 (寛い含む)
8. 依存症 (アルコール依存症、ギャンブル依存症など 悪い含む)
9. 7, 8以外の病気
10. その他 (内容を回答欄に記載してください)

③(①で選んだ方に対して)あなたがしているお世帯の内容 (あてはまるものすべて選び、番号を回答欄に記入)

1. 家事 (食事の準備や掃除、洗濯)
2. きょうだいの世話や孫等への送迎など
3. 身体的な介護 (入浴やトイレのお世帯など)
4. 外出の付き添い (買い物、散歩など)
5. 連絡の付き添い
6. 節電のサポート (節電を聞く、話し相手になるなど)
7. 見守り
8. 通訳 (日本語や手話など)
9. 金銭管理
10. 車の管理
11. その他 (内容を回答欄に記載してください)

★以下は、あなたが世帯を必要としている方が、二人以上いる場合も、まとめてお答えください。

④お世帯は誰と行っていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 母親
2. 父親
3. 祖母
4. 祖父
5. きょうだい
6. 親戚 (おじ、おばなど)
7. 自分のみ
8. 福祉サービス (ヘルパーなど) を利用
9. その他 ()

⑤お世帯はいつから行っていますか。お世帯を始めた年をお答えください。(はつまりとわからない場合は、だいたい年齢をお答えください)

()歳から

⑥お世帯を必要としている期間をお答え下さい。(あてはまる番号一つに○)

1. ほほ毎日
2. 週に3～5日
3. 週に1～2日
4. 1か月に数日
5. その他 ()

⑦平日にお世帯はどれくらい行っていますか。時間をお答えください。(日によって異なる場合は、この1か月の中でお世帯をした時間が最も多かった日の時間をお答えください)

1日 () 時間程度

問13 お世帯を必要としていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 学校に行きたくても行けない
2. どうしても学校を退学、早退してしまう
3. 宿題をする時間や勉強する時間が取れない
4. 睡眠が十分に取れない
5. 友人と遊ぶことができない
6. 部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった
7. 進路の変更を考へざるを得ない、もしくは進路を変更した
8. 自分の時間が取れない
9. 特になし
10. その他 ()

問14 お世帯を必要としていることに大変さを感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 身体的に大変である
2. 精神的に大変である
3. 時間的余裕がない
4. 特に大変さは感じていない

問15 お世帯を必要としている家族のことや、お世帯の細かい部分を感じたことはありますか。(あてはまる番号一つに○)

1. ある ⇒問16へ
2. ない ⇒問17へ

問16 問15で「1. ある」と回答した方にお聞きします。それは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 家族 (母、父、祖母、祖父、きょうだい)
2. 親戚 (おじ、おばなど)
3. 友人
4. 学校の先生 (保健室の先生以外)
5. 保健室の先生
6. スクールカウンセラーや、さわかや相談員
7. 医師や看護師、その他病院の人
8. ヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人
9. 役所や保健福祉センターの人
10. 近所の人
11. SNS上での知り合い
12. その他 ()

問17 問15で「2. ない」と回答した方にお聞きします。相談してない理由を教えてください。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 誰かに相談するほどの悩みではない
2. 家族以外の人に相談するほどの悩みではない
3. 誰に相談するのがよいかわからない
4. 相談できる人が身近にいない
5. 家族のことのため話にくい
6. 家族のことを知られたくない
7. 家族に対して偏見を持たれたくない
8. 相談しても状況が変わると思われない
9. その他 ()

問18 問15で「2. ない」と回答した方にお聞きします。お世話を必要としている家族のことや、お世話を誰かをしてくれる人はいますか。(あてはまる番号一つに○)

1. いる
2. いない

問19 学校や周りの大人に動いてほしいことや、手伝ってほしいことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 自分の今の状況について話を聞いてほしい ⇒○を付けた人は問20へ
2. 家族のお世話について相談のってほしい ⇒○を付けた人は問20へ
3. 家族の病気や障害、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい
4. 自分がしているお世話をすべてを代わりにしてくれる人やサービスがほしい
5. 自分がしているお世話を一部を代わりにしてくれる人やサービスがほしい
⇒具体的にどんなお世話、もしくはどんな場ですか

()

6. 自由に使える時間がほしい
7. 道路や就職など将来の相談のってほしい
8. 学校の勉強や受験勉強など学習のサポート
9. 家族への経済的な支援
10. わからない
11. 特になし
12. その他 ()

問20 問19で「1. 自分の今の状況について話を聞いてほしい」、「2. 家族のお世話について相談のってほしい」と回答した方にお聞きします。どのような方法で話を聞いてほしいか、相談のってほしいですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 直接来て
2. 電話
3. SNS (LINEなど)
4. 電子メール
5. その他 ()

※アンケートの最後に相談先を載せていますので、困ったときは話をしてみてください。

IV. ヤングケアラーについて

※ヤングケアラーとは、「本来大人がすると考えられるような家事や家族の世話を、日給内に行うことにより、子ども自身がやりたいことができないうえ、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことをいいます。本アンケート用紙の2ページ目にイラストを載せていますので、ご確認ください。

問21 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思えますか。(あてはまる番号一つに○)

1. あてはまる
2. あてはまらない
3. わからない

問22 「ヤングケアラー」という言葉をこれまで聞いたことがありましたか。(あてはまる番号一つに○)

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない

問23 問22で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまる番号すべてに○)

1. テレビや新聞、ラジオ
2. 雑誌や本
3. SNSやインターネット
4. 広告やチラシ、掲示物
5. イベントや交流会など
6. 学校
7. 友人・知人から聞いた
8. その他 ()

自由記述欄 (ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思われることや、要望等なんでも)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

○ **ヤングケアラーかも、と思った場合の相談先**

ヤングケアラーかも?と思った場合や、困っていることがある場合は、周囲の大人や、以下の相談先に話してみてください。

○ **学校に相談したいとき**

学校の先生、スクールカウンセラー

○ **電話で相談したいとき**

子供相談支援センター（ヤングテレホン相談） TEL. 0120-783-017（24時間、365日対応）
児童相談所（相談専用電話） TEL. 022-718-2580
児童相談所（全国共通ダイヤル） TEL. 189

○ **メール・LINEで相談したいとき**

子供相談支援センター（子どもメール相談） kodomo@city.sendai.jp
せんだいみやぎ子ども・子育て相談（LINE相談）



QRコード

○ **区役所に相談したいとき**

青葉区 家庭教育課（子供支援係） TEL. 022-225-7211
青葉区 地域総合支所 保健福祉課（子供支援係） TEL. 022-392-2111
宮城野区 家庭教育課（子供支援係） TEL. 022-291-2111
若林区 家庭教育課（子供支援係） TEL. 022-282-4111
太白区 家庭教育課（子供支援係） TEL. 022-247-4111
泉 区 家庭教育課（子供支援係） TEL. 022-372-3111